

令和5年度（2023年度）

# 年報



近江八幡市立総合医療センター  
Omihachiman Community Medical Center

## 基　本　理　念

多くの人々との出会いを通じて、  
新しい医療環境の創造に努めます。

### 基　本　方　針　・　5　つ　の　追　求

1. 地域の視点に立った信頼される医療を目指します。  
【信頼される医療の追求】
2. 安全性が保障された質の高い医療を追究します。  
【医療の質の追究】
3. 地域の医療機関や福祉・介護施設との連携を進めます。  
【地域医療連携の追求】
4. 活力に溢れ、誇りを生み出す組織風土を醸成します。  
【誇りある組織風土の追求】
5. 公営企業として、経営の健全化に努めます。  
【健全経営の追求】

# 目 次

## 病院基本理念・基本方針

### 1 はじめに

卷頭言 .....	1
年報発刊にあたって .....	2

### 2 病院の概要

1. 病院の概要 .....	3
2. 各医学会の認定状況 .....	4
3. 施設基準一覧 .....	5
4. 沿革 .....	7
5. 組織図 .....	10
6. 職種別職員数 .....	12

### 3 業績集

1. 著書・論文 .....	13
2. 学会発表・講演 .....	16

### 4 各種統計

1. 病院事業決算報告書 .....	33
2. 病院事業貸借対照表 .....	35
3. 病院事業損益計算書 .....	37
4. 病院事業医業収益・費用の詳細 .....	38
5. 患者状況 .....	39
6. 事業収入に関する事項 .....	41
7. 事業費に関する事項 .....	42
8. その他 各種データ .....	43

### 5 入院病歴統計

入院病歴統計 .....	49
--------------	----



# 1 はじめに



# 卷頭言

病院事業管理者 宮下 浩明

人類は様々な技術を開発し、それによって生活が豊かで便利になってきました。医療分野においても、癌治療薬である免疫チェックポイント製剤や、認知症の発症を抑える薬剤など、これまで治療が難しいとされていた患者さんにも希望をもたらす時代となっています。手術においては、ロボット支援手術が標準となり、医療を支えるシステムとして、電子カルテやAI問診、さらに画像診断や病理診断にもAIが活用されるようになりました。しかし、これらの新しい技術は非常に高額で、限られた財源の中ではすべてを導入することが難しいという現実があります。

2024年度の診療報酬改定により、多くの医療機関が大きな影響を受けています。ポストコロナによる補助金の減少に加え、人件費や薬剤費、材料費、光熱費、委託費が大きく増加していますが、2024年度の診療報酬改定は、本体で+0.88%、医科に関しては+0.52%という低い改定率にとどまっています。診療報酬は公定価格であります。このため、増加した支出分を診療報酬に反映させることができない状況にあります。当医療センターも例外ではなく、2024年度の決算は非常に厳しいものになる見込みです。

これから地域医療を支えるためには、医療資源を地域で効率的に活用することが重要です。本当に必要な分野には思い切った投資を行い、そうでない分野では思い切って手を引く覚悟が求められます。この年報をご覧の医療機関の皆様には、地域全体での情報共有を進めていただき、職員と地域住民のために、自院が果たすべき役割を真剣にお考えいただきたいと思います。

令和7年3月

# 年報発刊にあたって

院長 白山 武司

当院では、毎年「病院年報」と「診療案内」を作成しています。「診療案内」は地域医療連携を念頭に置き、病院ホームページとともに、各診療科の特徴をお伝えするメディアとしていますが、「年報」は1年間の病院における出来事、学会活動や経営状態、病院機能を把握するための基礎的データを毎年同じ形式で提供し、外部の方には病院の現状をご覧いただく資料として、われわれとしては、1年をふりかえり、また以前と比較して新たな計画を練るために使えるよう配慮しています。

令和5年は、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが変更され、通常診療体制に戻していくことになりましたが、感染症自体がなくなったわけではなく、一朝一夕に患者数が元に戻るわけでもなく、病床運営に手探りで取り組むことになりました。また今後の新興感染症アウトブレイクに備えた体制を地域全体で構築するため、さまざまな施策が打ち出されて県との折衝が増えました。一方で医師を始めとする病院での働き方改革も進める必要があり、当院では救急や急性期医療を中心にしていていることから、自動化やデジタルデバイスの導入、タスクシフト・シェア、特定労務管理対象機関としての整備を進めました。

その中で、どの診療科も入院患者数は徐々に回復してコロナ前に近づき、手術数は過去最高を記録しました。平均在院日数の短縮と入院単価の上昇により、コロナ補助金の減った分、診療という本来業務の活性化で収益を上げることができました。学会開催もコロナ前に戻り、発表も精力的に行うことができました。

年報の記録そのものは無味乾燥な内容ですが、複数年を比較し、また他病院と比較することで、さまざまな気づきがあります。今後の病院でのよりよい活動につながれば幸いです。

またご覧いただいた多方面からのご助言をいただき、よりよい病院に向けて職員一同努力したいと思います。よろしくお願い申し上げます。

## 2 病院の概要



## 病院の概要

医療機関名	近江八幡市立総合医療センター
開設者	近江八幡市長 小西 理 (こにし おさむ)
事業管理者	宮下 浩明 (みやした ひろあき)
院長	白山 武司 (しらやま たけし)
開設年月日	平成18年10月1日
住所	〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町1379番地 TEL 0748-33-3151 FAX 0748-33-4877
診療 (標榜) 科	総合内科、脳神経内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、呼吸器内科、腎臓内科、代謝・内分泌内科、血液内科、消化器外科、形成外科、救急診療科、病理診断科、リウマチ・膠原病内科
病床数	407床 【内訳】 一般 361床 救命救急病棟 18床 (内、集中治療室6床) HCU 15床 NICU 9床 感染症 4床
医療機関指定等	健康保険法指定医療機関、国民健康保険法療養取扱機関、労働者災害補償保険法医療機関、母子保険法養育医療指定医療機関、生活保護法指定医療機関、原子爆弾被爆者一般疾病指定医療機関、児童福祉法育成医療指定医療機関、指定自立支援医療機関 (育成医療・更生医療)、指定養育医療機関、原子爆弾被爆者一般疾病指定医療機関、児童福祉法育成医療指定医療機関、身体障害者福祉法指定医療機関、身体障害者福祉法更生医療指定医療機関、結核予防法指定医療機関、第二種感染症指定医療機関、臨床研修指定病院、地域医療支援病院、開放型病院、日本医療機能評価機構認定病院、救命救急センター、災害拠点病院、救急告示病院、地域周産期母子医療センター、助産施設、母体保護法指定医療機関、小児慢性特定疾病医療費助成指定医療機関、滋賀県地域がん診療連携支援病院、滋賀県肝疾患専門医療機関、滋賀県がん・重度肝硬変治療研究推進事業、滋賀県がん・重度肝硬変治療指定医療機関、難病医療費助成指定医療機関、滋賀県難病診療分野別拠点病院、滋賀県難病医療協力病院 (呼吸器)、エイズ治療協力病院、原子力災害医療協力機関、一次脳卒中センター、近畿ブロック小児がん連携病院、紹介受診重点医療機関
看護基準	7対1看護配置
その他	手術室7室 (内、バイオクリーン室1室) 分娩設備3 (内、LDI型1室) GCU 6床 無菌室6床 無菌室対応可能4床 ヘリコプター緊急離発着場 医師研修棟併設 【第三者評価】 日本医療機能評価機構病院機能評価認定 (一般病院2、3rdG:Ver2.0) 日本適合性認定協会IS015189:2012認定

## 各医学会の認定状況

1	日本内科学会認定内科認定医教育関連施設	29	日本脳神経外科学会専門医訓練施設
2	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	30	日本脳卒中学会研修教育施設
3	日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設	31	日本神経学会専門医制度准教育施設
4	日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設	32	日本小児科学会認定医制度研修施設
5	浅大腿動脈ステントグラフト実施施設	33	日本周産期・新生児医学会専門医研修施設
6	日本ステントグラフト実施基準委員会 腹部ステントグラフト実施施設	34	婦人科悪性腫瘍研究機構登録参加施設
7	日本ステントグラフト実施基準委員会 胸部ステントグラフト実施施設	35	日本小児外科学会専門医制度教育関連施設
8	三学会構成心臓血管外科専門医制度関連施設	36	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
9	下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設	37	日本泌尿器科学会専門医教育施設
10	日本消化器病学会専門医制度関連施設	38	日本超音波専門医研修施設
11	日本消化器内視鏡学会認定施設	39	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
12	日本肝臓学会認定施設	40	日本眼科学会専門医研修施設
13	日本血液学会認定医制度研修施設	41	日本麻酔科学会認定麻酔指導病院
14	日本腎臓学会認定専門医制度研修施設	42	日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設
15	日本糖尿病学会認定教育施設	43	日本放射線科専門医修練機関認定施設
16	日本高血圧学会専門医認定施設	44	日本病理学会病理専門医研修登録施設
17	日本透析医学会認定施設	45	日本核医学専門医教育病院
18	日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設	46	日本病態栄養学会認定栄養管理・N S T実施施設
19	日本内分泌外科学会内分泌・甲状腺外科専門医制度認定施設	47	日帰り人間ドック実施指定施設
20	日本外科学会認定・専門医制度修練施設	48	日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
21	日本消化器外科学会専門医修練施設	49	日本手外科学会認定手外科専門医制度関連研修施設
22	日本乳癌学会専門医制度 認定・関連施設	50	日本産婦人科内視鏡学会認定研修施設
23	日本オンコプラスティックサーディナー学会エキスパンダー実施施設	51	日本医学放射線学会画像診断管理認証施設
24	日本オンコプラスティックサーディナー学会インプラント実施施設	52	NIPTを実施する医療機関（基幹施設）
25	日本がん治療認定研修施設	53	日本臨床細胞学会認定施設
26	日本整形外科学会専門医制度研修施設		
27	日本脊椎脊髄病学会 椎間板酵素注入療法実施可能施設		
28	日本脊椎脊髄病学会 脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設		

## 施設基準一覧

No.	届出内容	No.	届出内容
1	一般病棟入院基本料	55	ニコチン依存症管理料
2	総合入院体制加算3	56	開放型病院共同指導料
3	救急医療管理加算	57	がん治療連携計画策定料
4	超急性期脳卒中加算	58	外来排尿自立指導料
5	診療録管理体制加算1	59	薬剤管理指導料
6	医師事務作業補助体制加算1	60	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
7	急性期看護補助体制加算	61	医療機器安全管理料1
8	看護職員夜間配置加算	62	在宅血液透析指導管理料
9	療養環境加算	63	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
10	重症者等療養環境特別加算	64	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
11	無菌治療室管理加算1		持続血糖測定器加算間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合及び皮下連続式グルコース測定
12	栄養サポートチーム加算	65	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
13	医療安全対策加算1	66	遺伝学的検査の注1に規定する施設基準
14	感染対策向上加算1	67	染色体検査の注2に規定する基準
15	患者サポート体制充実加算	68	BRCA1／2遺伝子検査
16	重症患者初期支援充実加算	69	先天性代謝異常症検査
17	褥瘡ハイリスク患者ケア加算	70	H P V核酸検出及びH P V核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
18	ハイリスク妊娠管理加算	71	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(S A R S-C o V-2核酸検出を含まないもの)
19	ハイリスク分娩管理加算	72	検体検査管理加算(II)
20	呼吸ケアチーム加算	73	国際標準検査管理加算
21	後発医薬品使用体制加算1	74	遺伝カウンセリング加算
22	病棟薬剤業務実施加算1	75	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査
23	病棟薬剤業務実施加算2	76	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
24	データ提出加算	77	胎児心エコー法
25	入退院支援加算	78	ヘッドアップティルト試験
26	認知症ケア加算	79	神経学的検査
27	せん妄ハイリスク患者ケア加算	80	補聴器適合検査
28	精神疾患診療体制加算	81	全視野精密網膜電位図
29	排尿自立支援加算	82	ロービジョン検査判断料
30	地域医療体制確保加算	83	コンタクトレンズ検査料1
31	ハイケアユニット入院医療管理料1	84	小児食物アレルギー負荷検査
32	新生児特定集中治療室管理料2	85	画像診断管理加算2
33	小児入院医療管理料2	86	C T撮影及びM R I撮影
34	短期滞在手術等基本料1	87	冠動脈C T撮影加算
35	外来栄養食事指導料の注2	88	心臓M R I撮影加算
36	外来栄養食事指導料の注3	89	乳房M R I撮影加算
37	心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	90	小児鎮静下M R I撮影加算
38	糖尿病合併症管理料	91	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
39	がん性疼痛緩和指導管理料	92	外来化学療法加算1
40	がん患者指導管理料イ	93	無菌製剤処理料
41	がん患者指導管理料ロ	94	心大血管疾患リハビリテーション料(I)
42	がん患者指導管理料ハ	95	脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
43	がん患者指導管理料ニ	96	運動器リハビリテーション料(I)
44	糖尿病透析予防指導管理料	97	呼吸器リハビリテーション料(I)
45	乳腺炎重症化予防ケア・指導料	98	がん患者リハビリテーション料
46	婦人科特定疾患治療管理料	99	硬膜外自家血注入
47	腎代替療法指導管理料	100	エタノールの局所注入(甲状腺)
48	一般不妊治療管理料	101	エタノールの局所注入(副甲状腺)
49	二次性骨折予防継続管理料1	102	人工腎臓
50	二次性骨折予防継続管理料3	103	
51	下肢創傷処置管理料		
52	院内トリアージ実施料		
53	外来腫瘍化学療法診療料1		
54	連携充実加算		

No.	届出内容	No.	届出内容
104	導入期加算2及び腎代替療法実績加算	134	体外衝撃波腎石破碎術
105	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	135	腹腔鏡下腎腫瘍摘出術
106	下肢末梢動脈疾患指導管理加算	136	腹腔鏡下腎体尾部腫瘍切除術
107	組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る)	137	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
108	緊急整復固定加算及び緊急挿入加算	138	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
109	椎間板内酵素注入療法	139	腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
110	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	140	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
111	緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレン挿入術)	141	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
112	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	142	膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質的膀胱炎手術(経尿道)
113	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	143	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
114	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	144	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
115	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	145	人工尿道括約筋植込・置換術
116	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	146	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
117	経皮的中隔心筋焼灼術	147	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
118	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	148	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
119	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	149	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
120	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	150	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
121	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	151	体外式膜型人工肺管理料
122	植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	152	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
123	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	153	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る)
124	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	154	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
125	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	155	輸血管理料I
126	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	156	輸血適正使用加算
127	経皮的下肢動脈形成術	157	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
128	内視鏡的逆流防止粘膜切除術	158	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
129	腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	159	麻酔管理料(I)
130	腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	160	麻酔管理料(II)
131	腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	161	保険医療機関間の連携による病理診断
132	バルーン塞栓下逆光性経静脈的塞栓術	162	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
133	腹腔鏡下肝切除術	163	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速病理細胞診
		164	病理診断管理加算1
		165	悪性腫瘍病理組織標本加算
		166	看護職員処遇改善評価料58
		167	入院時食事療養(I)・入院時生活療養(I)
		168	酸素の購入単価

# 沿革

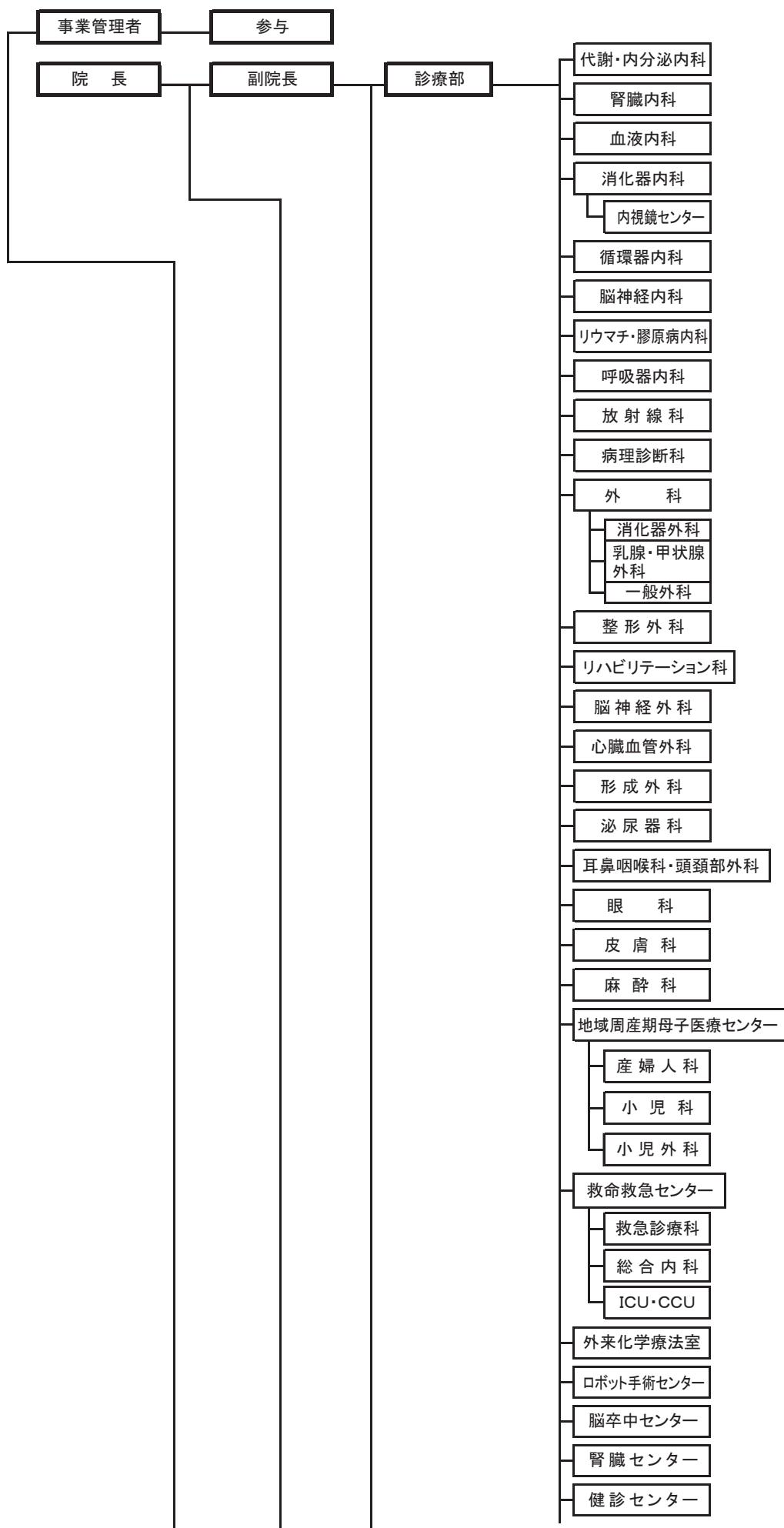
年月日	内 容
昭和15年 9月 8日	保証責任共生医療購買利用組合連合会八幡病院を設立 (木造2階建、診療科目7科、一般病床70床)
昭和16年11月15日	開院式
昭和39年 6月15日	近江八幡市出町395番地に新築移転 (鉄筋コンクリート造4階建、診療科目9科 一般病床100床、結核病床20床の計120床)
昭和40年 5月 1日	新病舎開設
昭和40年 7月31日	総合病院
昭和40年 8月16日	救急告示病院
昭和41年 4月 1日	近江八幡市立八幡病院 (近江八幡市に経営移管)
昭和45年 2月16日	一般病床を120床に増床、結核病床20床を廃止
昭和45年 3月11日	一般病床を160床に増床
昭和48年 4月 1日	近江八幡市民病院 (名称変更)
昭和48年12月14日	第一次増築整備事業竣工 (鉄筋コンクリート造5階建、一般病床286床)
昭和49年 3月 1日	血液透析開始
昭和54年 5月31日	脳神経外科を設置
昭和55年 3月18日	神経内科を設置
昭和55年 4月23日	第二次増築整備事業竣工 (鉄筋コンクリート造5階建、一般病床368床、 診療部内拡充、人工透析室整備)
昭和59年 5月28日	一般病床403床
昭和60年 3月27日	第三次増築整備事業竣工 (鉄筋コンクリート造5階建、一般病床403床、 救急室、手術室、透析室移転拡充)
昭和61年 7月 1日	医療事務電算化
昭和63年 1月29日	MR棟竣工
昭和63年 2月29日	第1回B病棟 (第1期旧館分) 改修工事完了
昭和63年 9月 1日	3基準 (基準看護・給食・寝具設備) 変更申請承認、特2類
平成元年 3月31日	第2回B病棟 (第1次増築分) 改修工事完了
平成元年 5月16日	自治体立優良病院自治大臣賞受賞
平成 3年 3月15日	職員宿舎「美郷寮」竣工
平成 4年12月 1日	滋賀県腎移植推進・情報センターを設置
平成 5年12月 1日	基準看護変更申請承認 (特2類264床、特3類139床)
平成 6年 2月 1日	夜間看護加算申請承認 平成6年4月1日改正 夜間勤務等看護 (II)
平成 6年10月28日	新看護基準届出受理 (2.5対1看護料、看護A加算、13対1看護補助料)
平成 8年 4月 1日	健診センター開設
平成11年 4月 1日	新看護基準変更届出受理 (感染症病床4床承認)
平成12年 4月 1日	一般病棟入院基本料届出受理 (I群入院基本料2、10対1看護補助加算)
平成13年 3月	PFIによる新病院建設決定
平成13年 9月14日	地域医療連携室及び国際カンファレンスルーム設置
平成14年 4月 1日	薬剤院外処方開始
平成15年 4月 1日	救急診療科設置
平成15年 9月 1日	医療安全管理室設置
平成15年10月	女性専用外来開設
平成16年 4月 1日	全国自治体病院協議会総務大臣表彰
平成16年 6月 1日	臨床研修指定病院 地方公営企業法の全部適用 (管理者設置) 米国グランドラピッズ市スペクトラムヘルス病院への職員派遣 (看護師・薬剤師)

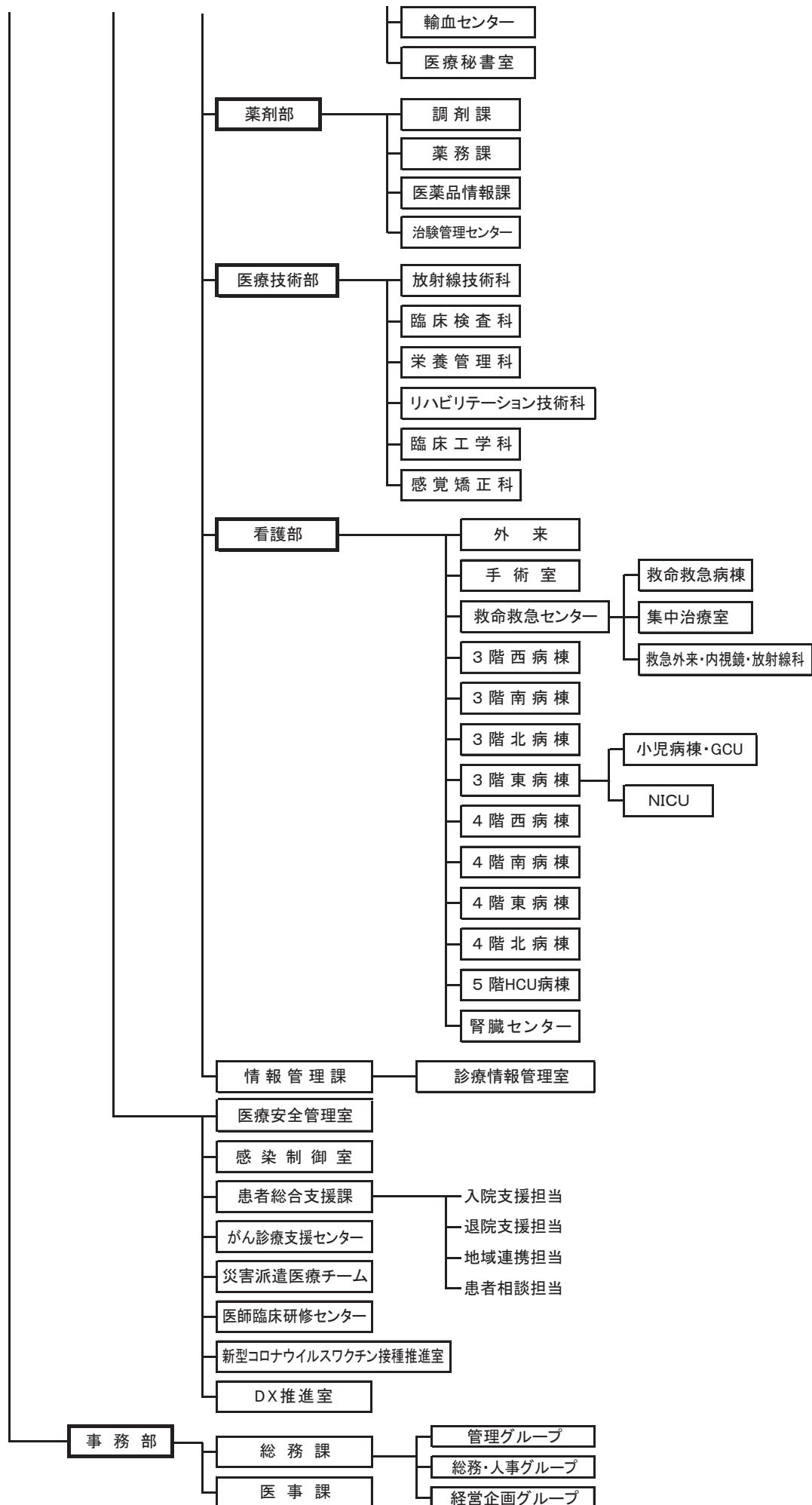
年月日	内 容
平成16年10月	新病院建設着工
平成17年 3月	災害派遣医療チーム（D M A T）発足
平成17年 4月 1日	小児外科開設 県地域周産期母子医療センター認定 事業管理者と院長の分離
平成17年10月 1日	一般病棟10対1入院基本料取得
平成18年 4月 1日	新病院竣工式（P F I 近江八幡(株主催)
平成18年 4月 26日	県総合防災訓練実施（会場：新病院）
平成18年 9月 3日	新病院開院式及び市民見学会
平成18年 9月 16日	新病院移転開始
平成18年 9月 28日	名称を「近江八幡市立総合医療センター」に改称し新病院開院 (鉄筋コンクリート造5階建・免震構造・延床面積33,873m <sup>2</sup> )
平成18年10月 1日	完全院外処方実施 事業管理課設置（P F I モニタリング） 救命救急センター設置 回復期リハビリテーション病棟設置 院内保育所365日開所、週3回24時間保育実施
平成19年 4月 1日	医療技術部に輸血管管理科を設置
平成19年 6月 1日	医療センターあり方委員会の設置
平成19年12月	病院機能評価Ver5.0 取得
平成19年12月 17日	医療センターあり方委員会から提言を受ける
平成20年 1月 21日	P F I 契約の解除合意
平成20年12月 24日	P F I 契約解除により市直接運営に変更
平成21年 4月 1日	地域医療支援病院取得
平成21年 6月 1日	がん診療連携支援病院指定
平成22年10月 1日	小児入院医療管理料2取得 急性期看護補助体制加算1取得
平成23年 4月 1日	磁気共鳴断層撮影装置（M R I ）設置 病院機能評価Ver6.0 取得（更新）
平成23年11月 15日	東近江医療圏地域医療再生計画に基づき高規格救急車配置
平成24年12月 17日	回復期リハビリテーション病棟（50床）を一般病床へ転換 心臓血管外科常勤医2名体制（心臓・大血管手術本格稼働）
平成25年 3月 22日	総合医療センターロゴマーク公募・選定
平成25年 7月 1日	研修棟竣工 (鉄骨造2階建・延床面積645m <sup>2</sup> )
平成25年10月 1日	総合医療情報システム更新（電子カルテシステム他）
平成25年12月 27日	災害派遣医療チーム派遣体制整備事業によるDMAT通信自動車配置 東側駐車場 整備
平成26年 1月 13日	第3血管カテール室 増設
平成26年 3月 31日	京滋ドクターへリ 運航開始
平成26年 7月 31日	一般病棟7対1入院基本料 取得
平成27年 3月 1日	320列全身用X線CT撮影装置 設置
平成27年 4月 28日	玄関前駐車場（ハートフル駐車場）整備
平成27年 7月 1日	外来化学療法室の整備・拡張
平成28年 1月 29日	地域包括ケア病棟入院料1 取得（一般病床48床からの転換）
平成28年 4月 1日	開院10周年記念式典
平成28年 7月 1日	入退院支援室 設置
平成28年10月 1日	検体検査管理加算（IV）取得
平成28年10月 8日	緩和ケア外来 診療開始
平成29年 3月 6日	病院機能評価 3rdG:Ver1.1 認定（更新）
平成29年 5月 29日	治験センター開設
平成29年 8月 31日	脳死下臓器提供（1例目）（6歳未満児）
平成29年12月 17日	がん診療連携部開設
平成30年 4月 1日	脳卒中センター開設
平成30年 7月 22日	3.0テスラMRI装置 設置
平成30年10月 1日	GCU完成（NICU9床、GCU6床）
令和元年 9月 1日	新型コロナウイルス感染症陽性患者受入れ
令和元年12月 28日	
令和 2年 1月 22日	
令和 2年 3月 15日	

年月日	内 容
令和 2年10月 1日	医療機関ネットワーク事業参画（消費者庁）
令和 3年 1月 4日	コロナ専用病床の運用開始（12床）
令和 3年 1月10日	総合医療情報システム更新（電子カルテシステム他）
令和 3年 1月22日	新型コロナウイルスワクチン接種推進室設置
令和 3年 5月28日	臨床検査科ISO15189認定
令和 4年 4月 1日	DPC特定病院群指定（～令和5年3月31日まで）
令和 4年 6月 1日	5階一般病床（15床）をハイケアユニットへ転換
令和 4年 7月 1日	手術支援ロボット（ダビンチXi）設置
令和 5年 1月 1日	病院機能評価 3rdG:Ver2.0 認定（更新）
令和 5年 2月14日	地域包括ケア病棟（48床）を一般病床へ転換
令和 5年 2月21日	学校法人聖泉学園聖泉大学連携協定締結
令和 5年 8月 3日	高気圧酸素療法開始
令和 5年 8月 1日	ポケサポ導入（DX推進の一環として）
令和 6年 1月10日	紹介受診重点医療機関指定
	特定労務管理対象機関指定（B水準）

# 近江八幡市立総合医療センター組織図

令和5年3月31日





## 職種別職員数 年度別推移

(単位：人)

職種	H29.4	H30.4	H31.4	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4
企業医療職（1）給料表職員	66	69	68	65	65	66	68
医師	66(49)	69(47)	68(43)	65(49)	65(57)	66(53)	68(57)
企業医療職（2）給料表職員	107	110	106	104	101	104	108
放射線技師	16	16	16	16	16(1)	15(1)	15(1)
臨床検査技師	20(7)	21(8)	19(7)	19(8)	18(9)	19(10)	18(10)
薬剤師	23	24	24	22(1)	20(2)	22(2)	23(1)
C R C		0(1)	0(2)	0(2)	0(2)	1(1)	1(1)
理学療法士	14(7)	15(6)	14(5)	14(5)	13(6)	13(6)	14(6)
作業療法士	5	5	5(1)	5(1)	6	6	6
言語聴覚士	4	4	4	4	4	4	5
臨床工学技士	15	15	15	15	15(1)	15(2)	17(1)
視能訓練士	4	4	3	3	3	3	3
管理栄養士	6(6)	6(6)	6(6)	6(6)	6(5)	6(6)	6(6)
企業医療職（3）給料表職員	403	415	418	416	412	412	421
看護師	399(41)	411(39)	415(53)	415(53)	411(46)	411(45)	420(49)
准看護師	4(6)	4(2)	3(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)
企業行政職（1）給料表職員	31	32	31	32	31	32	30
事務員	31(67)	32(67)	31(64)	32(73)	31(76)	32(80)	30(82)
企業行政職（2）給料表職員	2	2	1	1	1	1	1
労務員	1	1	1	1	1	1	1
看護助手	1(32)	1(34)	0(32)	0(29)	0(28)	0(27)	0(25)
診療助手	0(14)	0(14)	0(14)	0(14)	0(14)	0(13)	0(12)
合計	609	628	624	618	610	615	628
総合計	838	852	852	860	858	862	880

\* ( ) 内は、再任用職員、常勤嘱託および臨時職員数 (R2～再任用職員および会計年度任用職員数)

# 3 業績集



# 1.著書・論文

## 代謝・内分泌内科

1) A family with type A insulin resistance syndrome caused by a novel insulin receptor mutation

Horikawa O, Ugi S, Takayoshi T, Omura Y, Yonishi M, Sato D, Fujita Y, Fuke T, Hirota Y, Ogawa W, Maegawa H

雑誌名 Endocrinology Diabetes & Metabolism Case Reports  
年月 2023.4

2) *O*-linked *N*-acetylglucosamine modification is essential for physiological adipose expansion induced by high-fat feeding

Nakamoto A, Ohashi N, Sugawara L, Morino K, Ida S, Perry RJ, Sakuma I, Yanagimachi T, Fujita Y, Ugi S, Kume S, Shulman GI, Maegawa H

雑誌名 American Journal of Physiology Endocrinology and Metabolism  
卷号 Vol.325 No.1 頁 p. e46 - e61  
年月 2023.7

## 腎臓内科

1) 時相の違いによって転帰が異なった家族内発症の日本紅斑熱の3例

梅原皆斗、砂原康人、原 将之、門 浩志

日置麻里

雑誌名 内科

卷号 Vol.131 No.5 頁 p. 1218 - 1233  
年月 2023.5

## 消化器内科

1) Efficacy of endoscopic ultrasound-guided pelvic abscess drainage for pelvic abscesses : A case series study

Soga K, Sai A, Kitae H

雑誌名 Arab J Gastroenterol

卷号 Vol.24 No.3 頁 p. 149 - 154

年月 2023.8

## 循環器内科

1) Acquired coronary artery fistula with pseudo-false aneurysm detected by transthoracic echocardiography after myocardial infarction

Nobunari Tomura, Takuo Nakagami, Satoaki Matoba

雑誌名 JACC Case Report

卷号 eCollection 2023

年月 2023.4

## 心臓血管外科

1) 金属アレルギー患者に発症したステント留置後左鎖骨下動脈および腹部大動脈感染性仮性動脈瘤の1例

松岡健太郎、高島範之、神谷賢一、榎本匡秀、鉢呂康平、脇坂穂高、角 宏明、島田ゆうじ、鈴木友彰

雑誌名 日本心臓血管外科学会雑誌

卷号 Vol.52 No.6 頁 p. 444 - 448

年月 2023.6

2) 心タンポナーデを伴った急性B型大動脈解離に緊急TEVARを施行した症例

乃田浩光、松林景二、森 陽太郎、上山克史

雑誌名 脈管学

卷号 Vol.63 No.5 頁 p. 91 - 96

年月 2023.8

## 小 儿 科

1) ぶどう膜炎を合併した急性散在性脳脊髄炎の男子例

石川珠代、吉田 忍、西澤嘉四郎

雑誌名 脳と発達

巻号 Vol.55 No.6 頁 p.433 - 437

年月 2023.11

年月 2023.6

## 形 成 外 科

1) 有茎腹部皮弁再建後に生じた表皮囊胞内外傷性異所性爪の1例

矢持 良、恋水諒源

雑誌名 形成外科

巻号 Vol.67 No.2 頁 p.200 - 205

## 外 科

1) 消化器癌の手術成績予測における術前胸部CT低吸収域(LAA)測定の有用性

長田寛之、泉谷康仁、近藤 裕、大澤るみ、山下哲郎

雑誌名 癌と化学療法

巻号 Vol.50 No.13 頁 p.1405 - 1407

年月 2023.12

## 小 儿 外 科

1) 病院の実力 滋賀編 184

津田知樹

雑誌名 読売新聞

年月 2023.9.24 記事

## 臨 床 工 学 科

1) 早期警戒スコア Early Warning Score (EWS)導入への取り組み

竹村萌里、鈴木雄也、久郷 稔、宮下浩明

雑誌名 全国自治体病院協議会雑誌

巻号 Vol.62 No.6 頁 p.960 - 964

年月 2023.6

## 薬 剤 部

1) 腎炎・ネフローゼ症候群の免疫抑制剤の投与設計に苦労した症例

林 八恵子

雑誌名 B.P-up-to-date.No132

巻号 Vol.23 No.132

年月 2023.5

2) Impact of prior bevacizumab therapy on the

## 泌 尿 器 科

1) 早期警戒スコア Early Warning Score (EWS)導入への取り組み

竹村萌里、鈴木雄也、久郷 稔、宮下浩明

雑誌名 全国自治体病院協議会雑誌

巻号 Vol.62 No.6 頁 p.960 - 964

incidence of ramucirumab-induced proteinuria  
in colorectal cancer:a multi-institutional cohort  
study

Satoshi Dote, Eiji Shiwaku, Emiko Kohno,  
Ryohei Fujii, Keiji Mashimo, Naomi Morimoto,  
Masaki Yoshino, Naoki Odaira, Hiroaki Ikesue,  
Masaki Hirabarake, Masafumi Miyake,  
Yaeko Hayashi, Yoshie Yamamoto, Taiki Hirata,  
Daisuke Yamaguchi, Hitomi Miyata,  
Yuka Kobayashi.

雑誌名 International Journal of Clinical  
Oncology

巻号 Vol.28 No.8 頁 p.1054 - 1062

年月 2023.8

3) RPA 導入による薬剤業務の軽減効果の検討

小川暁生

雑誌名 滋賀県病院薬剤師会会誌

巻号 Vol.46 No.2

年月 2023.9

## 看護部

3S 病棟

1) スタッフ看護師が実地指導者へ実践している  
新人看護師育成における教育的サポート

仙波ゆうき、西山ゆかり、小林菜穂子、  
城ヶ端初子

雑誌名 聖泉看護学研究

巻号 Vol.13 頁 p.23 - 32

年月 2024.3

## 2.学会発表・講演

### 代謝・内分泌内科

1) 抗 GAD 抗体陽性小脳失調症患者が後に 1 型糖尿病を発症した 1 例

竹中大輔、石塚義崇、中村高秋、卯木 智

第 66 回日本糖尿病学会年次学術集会

鹿児島市 2023.5.11～13

2) アルコール性ケトアシドーシスと正常血糖ケトアシドーシスの合併が疑われた一例

竹中大輔、小林大地、卯木 智

第 60 回日本糖尿病学会近畿地方会

神戸市 2023.10.14

3) チアマゾール開始 16 年後に無顆粒球症を発症した一例

卯木 智、竹中大輔、小林大地

第 33 回臨床内分泌代謝 Update

横浜市 2023.11.3～4

4) 未来を健康に！糖尿病予防の無理のない一歩

小林大地

第 14 回糖尿病市民公開講座

近江八幡市 2023.11.5

5) 脳出血を発症し見つかった副腎性クッシング症候群の一例

竹中大輔、小林大地、卯木 智、齋藤 実、

中島正之、松田旭央、高村俊哉、牛嶋 壮

第 243 回内科学会近畿地方会

大阪市 2024.3.16

者の患者特性の推移

瀬川裕佳、八田 告、門 浩志

第 66 回日本腎臓学会学術総会

横浜市 2023.6.9～11

2) 成人発症の微小変化型ネフローゼ症候群に対してステロイド減量及び寛解維持にリツキシマブが有用であった 3 例

水野佑香、門 浩志、藤北明日香、松本憲治、緒方愛佑美、井田智治、山内明日香、三原 悠、八田 告

第 53 回日本腎臓学会西部学術大会

岡山市 2023.10.7～8

3) レンバチニブ投与中にネフローゼ症候群を発症し、保存的加療で対応した 1 例

松本憲治、三原 悠、藤北明日香、緒方愛佑美、井田智治、山内明日香、門 浩志、八田 告

第 53 回日本腎臓学会西部学術大会

岡山市 2023.10.7～8

4) 巣状分節性糸球体硬化症の経過中に歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症を合併した一例

藤北明日香、山内明日香、松本憲治、緒方愛佑美、井田智治、三原 悠、門 浩志、八田 告

第 53 回日本腎臓学会西部学術大会

岡山市 2023.10.7～8

5) 高齢者腎代替療法選択における多職種連携多職種連携で行う当科における高齢者腎代替療法選択の現状と課題

門 浩志

第 53 回日本腎臓学会西部学術大会

岡山市 2023.10.7～8

6) CKD 診療における医療連携～病診連携、病薬連携含め～

門 浩志

八幡蒲生薬剤師会 10 月学術講演

近江八幡市 2023.10.28

### 腎臓内科 (腎臓センター)

1) 2006～2021 年における保存期 CKD 入院患

7) CKD 診療における SGLT2 阻害薬への期待  
門 浩志

第 31 回東近江臨床勉強会  
東近江市 2023.11.9

8) 腎臓専門医としての糖尿病腎症重症予防の取り組み  
門 浩志

第 4 回糖尿病性腎症重症化予防の取り組みを考える会 in 東近江  
東近江市 2023.11.16

9) CKD 患者様の貧血の鑑別～腎性貧血の診断と治療を含め～  
門 浩志

第 234 回滋賀県病院薬剤師会湖北東・湖南西合同研修会  
Web 2024.1.18

10) DKD における栄養療法～たんぱく制限を中心～  
門 浩志

第 6 回 糖尿病と腎臓病 Web セミナー  
Web 2024.2.8

11) 腎保護を目的とした血圧管理  
門 浩志

守山野洲医師会 学術講演会  
守山市 2024.2.24

座長・パネリストなど

1) 第 6 回 糖尿病と腎臓病 web セミナー  
講演 2 ディスカッサント 門 浩志  
2024.2.8

内海雅美、楊 孝治、眞寄美佳、由本純基、  
高倉 駿、崔 哲暢、北江博晃、曾我幸一、  
石川博己、赤松尚明

第 59 回日本肝臓学会総会  
奈良市 2023.6.15~16

2) HCV 陽性者拾い上げに対する院内連携の取り組み～医療クラークの立場から～  
野口祥子、楊 孝治

滋賀肝炎医療コーディネーターカンファレンス  
近江八幡市 2023.7.21

3) 当院における HCV 抗体陽性者に対する院内連携の取り組み～ナッジ理論による行動変容～  
楊 孝治

Micro Eliminators in Kinki-Tokai 2023  
京都市+Web 開催 2023.10.21

4) HCV 陽性者拾い上げに対する院内連携の取り組みとナッジ理論からみた効果～医療クラークの立場から～  
内海雅美、楊 孝治

第 45 回日本肝臓学会西部会  
京都市 2023.12.7~8

5) 当院における HCV 抗体陽性者に対する肝炎医療コーディネーターを中心とした 5 年間の院内連携の取り組み  
堀川徳子、楊 孝治

第 45 回日本肝臓学会西部会  
京都市 2023.12.7~8

6) びまん性肝浸潤による肝障害で発症した肝原発悪性リンパ腫の 1 例

白井鈴華、石川博己、山下裕暉、藤本庸平、  
眞寄美佳、高倉 駿、渡邊直人、北江博晃、  
楊 孝治、赤松尚明

第 45 回日本肝臓学会西部会  
京都市 2023.12.7~8

## 消化器内科

1) HCV 陽性者拾い上げに対するナッジ理論からみた院内連携の取り組み～医療クラークの立場から～

7) 自然軽快を認めた好酸球性肝炎症性腫瘍の1例  
山下裕暉、石川博己、白井鈴華、藤本庸平、眞寄美佳、高倉 駿、渡邊直人、北江博晃、楊 孝治、赤松尚明

第45回日本肝臓学会西部会  
京都市 2023.12.7~8

8) 脂質異常症と肝疾患

石川博己  
パルモディア Web カンファレンス  
Web 開催 2023.11.21

9) ウイルス性肝炎の基礎知識と最新の知見

石川博己  
令和5年度滋賀県肝炎医療コーディネーター養成研修  
Web 開催 2024.1.28

10) 骨盤内膿瘍に対して超音波内視鏡下経直腸的ドレナージを行った小児の2例

藤本庸平、山下裕暉、白井鈴華、眞寄美佳、高倉 駿、渡邊直人、北江博晃、楊 孝治、石川博己、赤松尚明

日本消化器病学会近畿支部第120回例会  
神戸市 2024.1.27

11) A793、救急困難であった全身気腫症の一例

赤松尚明、小間圭祐、松尾寿保、土屋桂子、桑原美樹、菌部優大、濱田新七  
2023年度第5回臨床病理検討会 (CPC)  
近江八幡市 2024.3.7

## 血 液 内 科

1) unfit Ph+ALLに対するTKI治療  
高橋良一  
Ph陽性白血病治療を考える会 in Shiga  
Web 配信 2023.9.29

2) 慢性骨髄性白血病の病態と治療  
高橋良一  
第29回滋賀県がん薬物療法 Conference  
Web 開催 2023.11.1

3) 多剤 TKI 不耐容 CML 症例のアシミニブ使用  
岡野 晃  
MPN seminar in Shiga  
草津市 2023.3.17

座長・講師等

1) 滋賀血液免疫研究会 2023  
パネリスト (Clinical lecture) 高橋良一  
大津市 2023.4.7

2) 近江八幡地区感染対策セミナー  
開会の辞 高橋良一  
近江八幡市 2023.6.22

3) 第16回東近江がん治療カンファレンス  
司会 (特別講演) 高橋良一  
ハイブリッド 2023.9.15

4) Multiple Myeloma Web Seminar  
司会 (Panel Discussion) 高橋良一  
大津市+Web 2023.10.5

## 脳 神 経 内 科

1) 当院通院中の成てんかん患者の診療状況  
(第3報)  
松尾宏俊、田中章浩、中村拓真、能登祐一、孫 明子、丸尾知里、齋藤 実、中島正之、水野敏樹  
第64回日本神経学会学術大会  
千葉市 2023.5.31~6.3

2) MM1+2C 型と病理診断された孤発性 Creutzfeldt-Jakob 病の1剖検例

松尾宏俊、小川暢弘、矢端博行、赤木明生、  
漆谷 真、岩崎 靖  
日本神経学会第 125 回近畿地方会  
大阪市 2023.7.1

3) 臨床病理学的に特徴的な所見を認めた筋萎縮性側索硬化症の 5 剖検例

松尾宏俊、細川洋平、高橋 央、丹藤 創、  
漆谷 真、水野敏樹、伊東恭子  
第 64 回日本神経病理学会総会学術研究会  
神戸市 2023.7.6~8

4) パーキンソン病について知ろう！

～実際の紹介事例を交えながら～

松尾宏俊

地域でみるパーキンソン病勉強会 web セミナー  
Web 開催 2023.7.14

5) 左片麻痺が遷延したものの、継続的リハビリテーションにより社会復帰を果たした単純ヘルペス脳炎の 1 例

松尾宏俊

第 41 回日本神経治療学会学術集会  
東京 2023.11.3~5

6) 筋萎縮性側索硬化症の 3 剖検例における疾患多様性の臨床病理学的検討

松尾宏俊、細川洋平、高橋 央、丹藤 創、  
漆谷 真、水野敏樹、伊東恭子  
第 49 回臨床神経病理懇話会  
第 24 回日本神経病理学会近畿地方会  
大津市 2023.11.18~19

7) MM1+2C 型と病理診断された孤発性 Creutzfeldt-Jakob 病の 1 剖検例

松尾宏俊、小川暢弘、矢端博行、赤木明生、  
漆谷 真、岩崎 靖  
第 42 回日本認知症学会学術集会  
奈良市 2023.11.24~26

8) 診断未確定の状態で救急搬入されたパーキンソン病の 2 例

児玉創湖、松尾宏俊、田中章浩、河崎 土、  
山下裕暉、池田和弘

日本神経学会第 126 回近畿地方会  
大阪市 2023.12.16

9) A786、亜急性に呼吸状態悪化を認めた ALS の一例

松尾宏俊、松村桃子、松尾寿保、土屋桂子、  
内中将貴、濱田新七  
2023 年度第 4 回臨床病理検討会 (CPC)  
近江八幡市 2024.2.19

10) 無菌性髄膜炎と多発性神経炎の発症が診断の契機となったシェーグレン症候群の 1 例

津田明知、大胡 滴、松尾宏俊、松本憲治、  
石田侑希也、岩井崇泰、松尾寿保、濱田新七  
日本神経学会第 127 回近畿地方会  
豊中市 2024.3.3

11) 当院における脳梗塞の 10 年生存率と死因の検討

松尾宏俊、丸尾知里、齋藤 実、中島正之  
STROKE 2024  
横浜市 2024.3.7~9

座長・講師等

1) 片頭痛治療セミナー

～当たり前でない日常生活の実現のために～

座長 松尾宏俊

Web 配信 2023.8.3

2) 第 10 回京滋デメンシアコングレス

特別講演 1 座長 松尾宏俊  
京都市+web 2024.1.20

循 環 器 内 科

1) 高位側壁枝の急性心筋梗塞を契機とし、たこつぼ症候群から心破裂に至った一例

植村雄大、白山武司、中上拓男、深井邦剛、濱岡哲郎、南 喜人、鬼界雅一、柴田 涼、古屋 亮、立川弘孝

第 135 回日本循環器学会近畿地方会

豊中市 2023.7.15

2) 電撃性肺水腫をきたした難治性高血圧に対して PTCA が奏功した一例

柴田 涼、中上拓男、植村雄大、古屋 亮、南 喜人、鬼界雅一、濱岡哲郎、深井邦剛、立川弘孝、白山武司

第 135 回日本循環器学会近畿地方会

豊中市 2023.7.15

3) 亜急性血栓性病変に対する血管内治療時にガイドティングシースの血栓閉塞を來したが、小径バルーンで血栓回収に成功した一例

植村雄大、深井邦剛、柴田 涼、古屋 亮、南 喜人、鬼界雅一、濱岡哲郎、中上拓男、立川弘孝、白山武司

第 41 回 CVIT 近畿地方会

大阪市 2023.10.7

4) 総腸骨動脈に留置したバルーン拡張型ステントグラフトが石灰化病変による再狭窄を來した一例

古屋 亮、深井邦剛、植村雄大、柴田 涼、南 喜人、鬼界雅一、濱岡哲郎、中上拓男、白山武司

第 41 回 CVIT 近畿地方会

大阪市 2023.10.7

5) A791、強皮症に伴う肺動脈性肺高血圧症の一例

深井邦剛、西藤篤城、松尾寿保、土屋桂子、濱田新七

2023 年度第 3 回臨床病理検討会 (CPC)

近江八幡市 2023.10.26

6) CTO を含む LAD 病変に対して Stentless PCI および DCI を試みた一例

柴田 涼、植村雄大、古屋 亮、南 喜人、鬼界雅一、濱岡哲郎、深井邦剛、中上拓男、立川弘孝、白山武司

第 51 回 Coronary Frontier

京都市 2024.3.1

7) PCI に伴う外腸骨動脈損傷により CPA に至ったが、ECMO 送血管を用いて bail out に成功した一例

南 喜人、深井邦剛、植村雄大、古屋 亮、柴田 涼、鬼界雅一、濱岡哲郎、中上拓男、白山武司

第 42 回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会

大阪市 2024.3.2

国際学会

1) A case of acute lower limb ischemia in the long-term period after femoropopliteal bypass surgery, that was successfully treated with hybrid therapy

Shibata R, Fukai K, Furuya R, Minami Y, Kikai M, Hamaoka T, Nakagami T, Tatsukawa H, Shirayama T, Mori Y, Nota H, Matsubayashi K.  
LINC 2023 (Leipzig Interventional Course)  
Leipzig 2023.6.6~9

## 放 射 線 科

1) 症例提示 3: 検診マンモグラフィーで左乳房に Distortion 指摘され要精査となった 1 例

神谷 梓、土屋桂子

第 19 回関西乳房 MRI 勉強会

京都市 2023.10.14

2) 肺がん検診における X 線被ばく線量について  
松尾寿保

令和5年度 第1回肺がん検診従事者講習会  
大津市 2024.1.28

## 外科

3) 肺がん検診におけるX線被ばく線量について  
松尾寿保

令和5年度 草津市胸部レントゲンを学ぶ会  
草津市 2024.2.3

## 整形外科

1) 創傷治癒に難渋したアルカプトン尿症患者の  
アキレス腱断裂の1例

山村仁誌、久我研作、入山圭司、杉本一樹、  
中村 陽、森本 茂

第140回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会  
奈良市 2023.4.7~8

2) 橋骨遠位端粉碎骨折を伴ったGaleazzi脱臼  
骨折の治療経験

久我研作、中村 陽、高田大輔、児玉成人  
第49回日本骨折治療学会学術集会

静岡市 2023.6.29~7.1

3) 腕尺関節の関節適合が得られず難渋している  
肘関節脱臼骨折の1例

内田晃史、久我研作、竹村宣記、児玉成人  
第27回京滋手外科・末梢神経セミナー  
京都市 2023.9.16

4) TFNAを用いて骨接合術を行った4例  
青木崇絃、久我研作

TECセミナー  
Web 2023.12.13

座長等

1) TECセミナー

座長 久我研作

Web 2023.12.13

1) 当科におけるロボット支援下結腸癌手術の短  
期成績

小城正大、萩野元晴、竹本晴彦、長田寛之、  
中野且敬

第15回京都消化器外科臨床検討会  
京都市 2023.4.8

2) Late line の Lapatinib、Capicitabine併用  
療法でCRを継続している炎症性HER2陽性乳癌  
の2例

門谷弥生、秋岡清一

第31回日本乳癌学会学術総会  
横浜市 2023.6.29~7.1

3) 当科におけるロボット支援下結腸癌手術の短  
期成績

小城正大、荒谷憲一、中野且敬

第78回日本消化器外科学会総会  
函館市 2023.7.12

4) 広範囲左側結腸切除後に右側結腸・直腸吻合  
再建が可能であった2例

竹本晴彦、萩野元晴、小城正大、長田寛之、  
門谷弥生、秋岡清一、中野且敬

第120回滋賀県外科医会  
大津市 2023.10.14

5) 慢性乳腺炎との鑑別が困難で診断に難渋した  
乳房悪性リンパ腫の1例

門谷弥生、萩野元晴、小城正大、長田寛之、  
秋岡清一、中野且敬

第85回日本臨床外科学会総会  
岡山市 2023.11.16~18

6) 抗HER2療法中に心不全をきたした進行乳  
癌の1例～進化する乳癌薬物療法とその功罪 抗  
HER2療法に焦点をあてて～

門谷弥生

近江八幡腫瘍循環器セミナー

近江八幡市 2023.11.24

7) 胃窓窿部の胃内発育型粘膜下腫瘍に対して腹腔鏡下胃内手術を施行した1例

小城正大、萩野元晴、竹本晴彦、長田寛之、中野且敬

第36回日本内視鏡外科学会

横浜市 2023.12.7~9

8) 広範囲左半結腸切除後、腹腔鏡下に上行結腸間膜背側経路を介して腸管再建を行った1例

竹本晴彦、萩野元晴、小城正大、長田寛之、中野且敬

第36回日本内視鏡外科学会

横浜市 2023.12.7~9

9) ロボット支援下胃切除における術中視野確保の工夫

長田寛之、有村勇哉、萩野元晴、小城正大、中野且敬

第16回日本ロボット外科学会学術集会

米子市 2024.2.10~11

10) 当科におけるロボット支援下結腸癌手術41例の周術期短期成績に関する検討

中野且敬、萩野元晴、竹本晴彦、小城正大、長田寛之

第16回日本ロボット外科学会学術集会

米子市 2024.2.10~11

11) 術前化学療法を併施する進行胃癌の栄養指標

長田寛之、小見山こず恵、山本圭恵

第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会

(JSPEN2024)

横浜市 2024.2.15~16

12) 進行胃癌に対する薬物療法後根治術を目指

した治療戦略

萩野元晴、竹本晴彦、小城正大、長田寛之、

門谷弥生、秋岡清一、中野且敬

第96回日本胃癌学会総会

京都市 2024.2.28~3.1

13) 当科で術前化学療法を施行した進行胃癌の栄養指導と治療効果

長田寛之、萩野元晴、小城正大

第96回日本胃癌学会総会

京都市 2024.2.28~3.1

14) ニボルマブの投与による関節リウマチが顕在化した再発胃癌の1例

竹本晴彦、萩野元晴、小城正大、長田寛之、中野且敬

第96回日本胃癌学会総会

京都市 2024.2.28~3.1

座長等

1) 第21回滋賀ヘルニア研究会

座長 中野且敬

大津市 2023.9.9

2) 第85回日本臨床外科学会総会

座長 (胆囊・脾臓・脾臓・門脈⑫) 中野且敬

岡山市 2023.11.16~18

3) 第21回日本乳癌学会近畿地方会

座長 (一般演題4「その他」) 門谷弥生

京都市 2023.11.25

4) 第13回びわこ膵癌フォーラム

座長 中野且敬

草津市 2024.2.9

5) 第57回日本臨床腎移植学会

一般演題 ポスター9 感染症 (Covid-19 以外のウイルス)

座長 秋岡清一

名古屋市 2024.2.14~16

6) 第96回日本胃癌学会総会  
一般口演 A7 免疫チェックポイント  
座長 長田寛之  
京都市 2024.2.28~3.1

STROKE 2024  
横浜市 2024.3.7~9

## 脳 神 経 外 科

1) 新たな脳卒中診療『最近の脳梗塞外科治療を中心』  
中島正之  
近江八幡市蒲生郡医師会 学術講演会  
近江八幡市 2023.5.23

2) てんかん重積の治療 ミダフレッサの使用経験  
中島正之  
滋賀医科大学脳神経外科ミダフレッサ講演会  
草津市 2023.9.8

3) 失語で発症した薬剤性白質脳症の1例  
丸尾知里、齋藤 実、中島正之  
第82回 日本脳神経外科学会学術集会  
横浜市 2023.10.25~27

4) 脳卒中後てんかんの治療 - AMPA受容体を拮抗する意義を踏まえて -  
中島正之  
脳神経外科医のためのてんかんセミナー  
Web 開催 2024.1.31

5) 当院におけるクラゾセンタンナトリウムの使用例について  
丸尾知里、齋藤 実、中島正之

SHA Round Table Conference  
大津市 2024.3.14

6) 当院における脳梗塞の10年生存率と死因の検討  
松尾宏俊、丸尾知里、齋藤 実、中島正之

座長等  
1) 第2回滋賀 SAH Expert Seminar ネットワーク Expert Meeting  
座長 中島正之  
Web 2023.11.2

2) SHA Round Table Conference  
座長 中島正之  
大津市 2024.3.14

## 泌 尿 器 科

1) 当院における進行性尿路上皮癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の使用経験  
岡本 麻、松田旭央、高村俊哉、牛嶋 壮、宮下浩明  
第110回日本泌尿器科学会総会  
神戸市 2023.4.21

2) 排尿障害の取扱説明書  
牛嶋 壮  
近江八幡市蒲生郡医師会学術講演会  
近江八幡市 2023.4.25

3) 当院でのRARP 初期経験 ~ 頸部後壁切開から精囊同定までの長い道のり ~  
高村俊哉  
Urology Summer Seminar  
京都市 2023.6.2

4) 精巣及び精索浸潤を生じた急性骨髓性白血病の1例  
松田旭央、岡本 麻、高村俊哉、牛嶋 壮、宮下浩明  
第253回日本泌尿器科学会関西地方会  
大津市 2023.6.10

5) RARP 後に急性膀胱炎を発症した 1 例

岡本 麻、松田旭央、高村俊哉、牛嶋 壮、  
宮下浩明

第 40 回滋賀泌尿器科集談会

大津市 2023.10.29

6) 間欠的自己導尿の適応と管理のポイント

牛嶋 壮

排尿の治療とケアに関する勉強会

近江八幡市 2023.12.14

7) PIRADS スコアに基づく当院での前立腺生検の適応と結果 / 当院での mCSPC に対するアバランタミド使用経験

松田旭央

第 2 回東近江医療圏・湖東医療圏合同病診連携の会  
近江八幡市 2024.1.31

座長等

1) 第 110 回日本泌尿器科学会総会

座長（一般演題 45 「上部尿路」）牛嶋 壮  
神戸市 2023.4.21

## 心臓血管外科

1) 再発性下肢静脈瘤に対するレーザー高位結紮術の経験

乃田浩光、松林景二、森 陽太郎

第 51 回日本血管外科学会学術総会  
東京 2023.5.31～6.2

2) 左鎖骨下動脈狭窄症に対するステント留置後に左鎖骨下動脈瘤を発症した金属アレルギー患者に対して手術を施行した 1 例

松岡健太郎、高島範之、角 宏明、島田ゆうじ、脇坂穂高、鉢呂康平、榎本匡秀、神谷賢一、  
鈴木友彰

第 51 回日本血管外科学会学術総会  
東京 2023.5.31～6.2

3) 心肺停止に至る肺血栓塞栓症に対して経皮的心肺補助装置と肺動脈血栓摘除術を併用し救命し得た 1 例

松岡健太郎、榎本匡秀、高島範之、角 宏明、島田ゆうじ、脇坂穂高、鉢呂康平、森本政憲、  
鈴木友彰

第 66 回関西胸部外科学会学術集会

大阪市 2023.6.8～9

4) 胸部大動脈手術において運動誘発電位消失した 2 症例

乃田浩光、松林景二、松岡健太郎

第 64 回日本脈管学会学術総会

横浜市 2023.10

## 病理診断科

1) A791、強皮症に伴う肺動脈性肺高血圧症の一例

深井邦剛、西藤篤城、松尾寿保、土屋桂子、  
濱田新七

2023 年度第 3 回臨床病理検討会（CPC）

近江八幡市 2023.10.26

2) A786、亜急性に呼吸状態悪化を認めた ALS の一例

松尾宏俊、松村桃子、松尾寿保、土屋桂子、  
内中将貴、濱田新七

2023 年度第 4 回臨床病理検討会（CPC）

近江八幡市 2024.2.19

3) A793、救急困難であった全身気腫症の一例

赤松尚明、小間圭祐、松尾寿保、土屋桂子、  
桑原美樹、菌部優大、濱田新七

2023 年度第 5 回臨床病理検討会（CPC）

近江八幡市 2024.3.7

## 耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科

1) 舌扁平上皮癌に起因する Trousseau 症候群の  
1例

丁 剛、越知康子、木村有佐  
第 85 回耳鼻咽喉科臨床学会  
東京 2023.6.24

2) 当院で経験した小児における誤嚥防止手術の  
検討

富樫佑一、津田知樹、越知康子、石田侑希也、  
丁 剛

第 42 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会  
福岡市 2023.10.26

3) 過粘稠性クレブシェラによる側頸部膿瘍の 1  
例

石田侑希也、越知康子、丁 剛  
第 144 回日耳鼻京滋合同地方部会  
京都市 2023.12.9

## 小児科

1) 経母乳感染が考えられた遅発性 B 群溶血性連  
鎖球菌髄膜炎の一例

石川珠代、吉田 忍、白波瀬明子、谷岡 篤、  
中井隆雄、石川継洋、江角祐香、萩原恵理、  
中嶋麻子、山本由佳、西澤嘉四郎

第 90 回日本小児科学会滋賀地方会  
大津市 2023.10.7

## 麻酔科

1) アルプロスタジルにより肺水腫を来たした 3 症  
例

東方謙介

第 69 回日本麻酔科学会関西支部学術集会  
大阪市 2023.9.2

## 産婦人科

1) MTX による保存的治療が奏功した卵管間質  
部妊娠の 1 例

吉田尚平、松島 洋、伊藤祐弥、大西拓人、  
沖村浩之、竹川哲史、小野哲男、初田和勝  
第 37 回 KG F 研究会  
京都市 2024.2.24

## 小児外科

1) 当科にて経験した児童虐待が示唆された 2 例

津田和樹、富樫佑一、小西 快、川脇拓磨  
第 60 回日本小児外科学会学術集会  
大阪市 2023.6.1~3

2) 遅発性横隔膜ヘルニア術直後に乳児肥厚性幽  
門狭窄症を生じた一例

富樫佑一、小西 快、津田知樹  
第 60 回日本小児外科学会学術集会  
大阪市 2023.6.1~3

3) 育児・介護休業法改正と育児休業取得の経験

小西 快、富樫佑一、津田知樹  
第 60 回日本小児外科学会学術集会  
大阪市 2023.6.1~3

4) 超低出生体重児の一絨毛膜ニ羊膜双胎両児に  
発症した新生児消化管穿孔の救命例

富樫佑一、小西 快、津田知樹、山本由佳、  
中嶋麻子、吉田 忍、西澤嘉四郎  
第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会  
名古屋市 2023.7.9~11

5) 先天性十二指腸狭窄症に合併した新生児胃穿

孔の1例

津田知樹、小西 快、富樫佑一

第59回日本周産期・新生児医学会学術集会

名古屋市 2023.7.9~11

6) 小児直腸脱に対し腹腔鏡下直腸固定術を施行した一例

富樫佑一、津田知樹

第59回日本小児外科学会近畿地方会

大阪市 2023.8.26

7) 乳幼児期以降に診断された低位鎖肛の2例

～肛門診察のpitfall～

津田知樹、富樫佑一

第90回日本小児学会滋賀地方会

大津市 2023.10.7

8) 左後側方切開にて手術した正中心を合併する先天性食道閉鎖症の一例

津田知樹、富樫佑一、青井重善、小野 滋

第42回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会

福岡市 2023.10.26~27

9) 当院で経験した小児における誤嚥防止手術の検討

富樫佑一、津田知樹、越知康子、石田侑希也、

丁 剛

第42回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会

福岡市 2023.10.26~27

国際学会

1) A case of cat eye syndrome revealed as Hirschsprung's disease after radical surgery for anorectal malformation ( E-Poster )

Yuichi Togashi

The Pacific Association of Pediatric Surgeons  
56<sup>th</sup> Annual Meeting

Bali, Indonesia 2023.9.10~14

## 形成外科

1) 表皮囊腫瘍の外観を呈した鼻尖部基底細胞癌の一例

矢持 良、恋水諄源

第66回 日本形成外科学会総会

長崎市 2023.4.26

2) 手部尺骨神経損傷の診断

長村紫帆、矢持 良、恋水諄源、久我研作

第42回 京都府立医科大学形成外科学術集会

京都市 2023.5.27

3) 逆行性指動脈皮弁島状皮弁による指尖損傷の治療

長村紫帆、矢持 良、田中大基

第22回 京都府立医科大学形成外科集談会

京都市 2023.10.14

## 薬剤部

1) 若手薬剤師へのポリファーマシーカンファレンス、研修会の効果

林 八恵子

Zoom up pharmacist forum

Web 2023.4.15

2) 腎臓病薬物療法認定薬剤師が視る腎機能・腎障害

林 八恵子

Pharmacy's seminar

Web 2023.4.24

3) 整形外科病棟におけるポリファーマシーカンファレンスの介入効果

秋元 昂燿

第7回 日本老年薬学会 学術大会

福岡市 2023.5.20

4) RPA および VBA 活用による医療 DX 推進に  
向けた取り組み

小川 晓生

第 25 回日本医薬品情報学会

京都市 2023.6.10

5) 薬学生に知って欲しい薬剤適正使用のための  
患者フォロー法

林 八恵子

京都薬科大学 先端臨床薬学概論

京都市 2023.6.30

6) 近江八幡心不全地域連携の取り組み～地域薬  
局との連携～

林 八恵子

第 16 回心不全のトータルマネジメントを考える会

Web 2023.6.30

7) B.P up-to-date 腎炎・ネフローゼ症候群の免  
疫抑制剤の投与設計に苦労した症例

林 八恵子

Web 2023.8

8) CyA の TDM への介入

荒竹 春花

KIDS 症例検討 “夏合宿”

Web 2023.8.10

9) ステロイド服用患者に対する PCP 予防

三上 友寛

KIDS 症例検討会

Web 2023.8.25

10) CKD 患者に対する AKI を予防するための  
取り組み

荒竹 春花

第 43 回滋賀県病院薬剤師会・学術大会

草津市 2023.8.26

11) 薬剤性腎障害 基礎編、実践編

林 八恵子

関西腎と薬剤研究会

Web 2023.9

12) 経口糖尿病薬が処方された高齢者の腎機能  
別投与量確認の取り組み

高見 麻友

第 11 回日本くすりと糖尿病学会学術集会

神戸市 2023.9.2

13) 当院における ACS プロトコル  
三上 友寛

薬薬連携研修会@近江八幡

Web 2023.9.7

14) 地域で行う！「シックデイ」、「トリプルワ  
ミー」予防の取り組み

林 八恵子

JSNP16 長崎大会

Web 2023.9.14

15) 小児領域における施設間情報連絡書の実用  
性について

山田 真吾

第 50 回日本小児臨床薬理学会学術集会

大阪市 2023.10.1

16) 小児病棟・NICU・GCU における病棟薬剤  
業務

門居 久嗣

第 50 回日本小児臨床薬理学会学術集会

大阪市 2023.10.1

17) お薬手帳の活用について

三上 友寛

市民公開講座

近江八幡市 2023.10.7

18) コンプレックス症例への DOAC 投与で悩  
んだケース

林 八恵子  
Web 2023.10.12

がんとレジメン研修会  
近江八幡市 2023.11.9

19) おくすりについて  
三上 友寛  
第5回脳卒中市民公開講座  
近江八幡市 2023.10.14

26) 当院でおきた irAE  
松井 謙  
がんとレジメン研修会  
近江八幡市 2023.11.9

20) 腎臓と高血圧治療薬  
三上 友寛  
第17回日本腎臓病薬物療法学会学術集会  
名古屋市 2023.10.28

21) Stop AKI!薬剤師が取り組む薬剤性腎障害  
予防  
林 八恵子  
第17回日本腎臓病薬物療法学会学術集会  
名古屋市 2023.10.29

27) 肝炎の薬物療法～導入から治療に至るまで～  
加藤 諭美  
滋賀県肝炎診療研修会  
大津市 2023.11.18

22) 腎機能低下患者に対する SGLT2 阻害薬の  
使い方と注意点  
林 八恵子  
第17回日本腎臓病薬物療法学会学術集会  
名古屋市 2023.10.29

28) チーム医療について  
三上 友寛  
立命館大学2回生特別講義  
大津市 2023.11.23

23) complex case カンファレンス 複雑な症例  
の薬物療法をプロフェッショナルな薬剤師と一緒に  
考えてみよう ～腎編～  
林 八恵子  
第33回医療薬学会年会  
仙台市 2023.11.4

29) 腎臓を守る!高血圧薬の話  
三上 友寛  
市民公開講座  
近江八幡市 2023.11.26

30) Stop AKI!薬剤師が取り組む薬剤性腎障害  
予防  
林 八恵子  
第4回可茂薬薬連携セミナー  
Web 2023.12.13

24) 当院における NICU・小児病棟活動紹介  
門居 久嗣  
第7回薬物療法に関する認定/専門薬剤師養成セ  
ミナー  
Web 2023.11.9

31) 当院における HBV 再活性化予防への取り組み  
北野 美鈴  
Gilead Liver Seminar 2024  
Web 2024.1.24

25) 新規レジメン紹介～イミフィンジ、イジュード～  
北野 美鈴

32) インフルエンザワクチン在庫管理の適正化  
に向けた取り組み  
三上 友寛  
日本病院薬剤師会近畿学術大会  
和歌山市 2024.1.24

3 3) 当院における処方修正の内容と要望内容についての考察

加藤 諭美

日本病院薬剤師会近畿学術大会

和歌山市 2024.1.24

神戸市 2024.3.10

3 4) 医療 DX 推進における RPA 活用の可能性

小川 晓生

日本病院薬剤師会近畿学術大会

和歌山市 2024.1.24

4 1) 連携充実加算査定における「外来化学療法連携レター」の運用を通してみられた薬薬連携の変化

山本圭恵

日本臨床腫瘍薬学会学術大会

神戸市 2024.3.2

3 5) SGLT2 阻害薬の overview

林 八恵子

第 8 回心不全地域連携の会

滋賀 2023.1.25

## 放射線技術科

1) 救急で知っておきたい基礎知識シリーズ

『 こんなに出ましたけど～ 』

後藤京介

第 19 回 救急画像分科会

草津市 2023.8.2

3 6) 腎臓病薬物療法認定薬剤師の役割

林 八恵子

鳥居薬品研修セミナー

Web 2024.1.29

## 栄養管理科

1) 心臓血管外科術後の経口摂取たんぱく質充足率と術後在院日数の関係

深谷千佳、瀬川裕佳、坂田賀菜、黒川あかね、東野陽子、小見山こず恵、鹿谷未香、岸本 匠、山田美穂、石川博己

第 38 回日本臨床栄養代謝学会学術集会

神戸市 2023.5.9～10

3 7) 当院における ACS プロトコル

三上 友寛

第 2 回滋賀県地域連携研修会

滋賀 2024.2.3

2) 脳卒中予防のための食事

～塩分・脂肪・アルコールについて～

井上知佳

第 5 回脳卒中市民公開講座

近江八幡市 2023.10.14

3 8) “おくすり”を減らすのって、ほんま大変！

松井 誠

QI 活動報告会

近江八幡市 2024.2.17

3) 「いつ」「何を」食べる？

～食事と時間の関係～

中川千佳

第 14 回糖尿病市民公開講座

近江八幡市 2023.11.5

3 9) 薬剤性腎障害の原因となりうる薬剤

林 八恵子

日本臨床検査技師会近畿支部研修会

滋賀 2024.2.18

4 0) 介護認定認定を受けていない、独居の超高齢

アドヒアラנס不良患者に対する薬薬連携の効果

林 八恵子

第 88 回日本循環器学会学術集会

4) 今日の食事を確認しよう！

辻森ひろみ

第 14 回糖尿病市民公開講座

近江八幡市 2023.11.5

5) 大動脈解離を予防する賢いさかなの食べ方

深谷千佳

第 8 回心臓血管外科市民公開講座

近江八幡市 2023.11.18

6) たんぱく質ってなあに？

鹿谷未香

第 12 回腎臓内科市民公開講座

近江八幡市 2023.11.26

7) 心不全の食事を学ぼう！

坂田賀菜

第 2 回循環器内科市民公開講座

近江八幡市 2024.2.10

長浜市 2023.10.28

4) 運動について

渡邊淳子

第 14 回糖尿病市民公開講座

近江八幡市 2023.11.5

5) 腎臓病と運動

宮崎悠希

慢性腎臓病市民公開講座

近江八幡市 2023.11.26

6) 合併症により一度は手術困難と判断されたが、多職種介入し周術期を乗り越えた成人先天性心疾患の一症例

中山順子

第 63 回近畿理学療法学術集会

和歌山市 2024.2.3~4

7) 多職種一丸となって周術期を乗り越えた先天性心臓病患者に対するハートチームの役割  
～いやや、いややのその先にあった奇跡の物語～

中山順子

QI 活動報告会 2023

近江八幡市 2024.2.17

## リハビリテーション科

1) AMI 後の心不全により ADL が著明に低下したモバイルエアロモニタでの運動耐容能評価が奏功した一症例

奥村高弘、尾上良歩、亀井彩子、深井邦剛

第 29 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会

横浜市 2023.7.15~16

2) 患者ファーストから病院貢献～～大腿骨近位部骨折に着目して～

渡邊淳子、酒井 幸、馬場容子、原田昌宣

第 61 回全国自治体病院学会 in 北海道

札幌市 2023.8.31~9.1

3) リハビリテーションからみた転院のタイミングについて～大腿骨近位部骨折に着目して～

渡邊淳子、酒井 幸、馬場容子、原田昌宣

日本医療マネジメント学会 第 20 回京滋支部学術集会

## 臨床検査科

1) 腎臓のはたらきと臨床検査

小寺あおい

第 12 回 C K D 市民公開講座

近江八幡市 2023.11.26

2) 血液培養における直接同定・感受性検査

近澤秀己

令和 5 年度 日臨技近畿支部 微生物部門秋季研修会

和歌山市 2023.12.3

3) Fastidious bacteria における薬剤感受性の実践

近澤秀己

第35回日本臨床微生物学会 シンポジウム  
横浜市 2024.2.9

## 臨床工学科

1) 透析装置統合管理支援システム Miracle  
DMACS EX 導入における節液効果について  
永福啓一、久郷 稔、久永浩司、門 浩志  
第68回日本透析医学会学術集会・総会  
神戸市 2023.6.16~18

2) EWS 導入への取り組み  
竹村萌里、鈴木雄也、久郷 稔  
第61回全国自治体病院学会 in 北海道  
札幌市 2023.8.31~9.1

3) エコー管理方法ディスカッション  
鈴木雄也  
第2回ME Webセミナー  
Web 2023.10.27

4) 働き方改革への取り組み  
-臨床工学技士の立場からできること-  
島村直投、鈴木雄也、久郷 稔  
第20回京滋支部学術集会  
長浜市 2023.10.28

5) EWS と有害事象の関連性  
鈴木雄也、久郷 稔、宮下浩明  
第20回京滋支部学術集会  
長浜市 2023.10.28

6) 睡眠時無呼吸症候群(SAS)について  
牧田広之  
第12回CKD市民公開講座  
近江八幡市 2023.11.26

7) 高気圧酸素治療器を導入して  
久永浩司、鈴木雄也、板橋達幸、久郷 稔

第7回高気圧学会近畿地方会学術集会  
草津市 2024.3.17

## 看護部

外来  
1) CKD教育入院に向けた外来の取り組み  
- CKDセルフケア行動及び認識尺度の作成 -  
片山初美

第4回CKD教育入院発表会  
京都市 2023.4.15

2) 血糖測定が心理的負担感とセルフケア行動に与える影響 - is CGM と SMBG を比較して -  
片山初美、卯木 智  
第66回日本糖尿病学会年次学術集会  
鹿児島市 2023.5.11~13

3) 糖尿病負担感に影響を与える要因の検討  
片山初美  
第28回糖尿病教育・看護学会学術集会  
岡山市 2023.9.23~24

4) 糖尿病腎症の進展抑制を目指して～チーム医療によるアプローチ～ - 糖尿病療養指導士・腎臓病療養指導士の立場から -  
片山初美

第34回糖尿病性腎症研究会  
東京 2023.12.2~3

5) ナラティブアプローチによる「外来看護」に対する意識の変化  
淺田美由紀、山下実保子、青木あつ子、北川陽子  
第42回近江八幡市立総合医療センター看護研究発表会  
近江八幡市 2024.3.9

救命救急センター  
1) A病院救命救急センターにおける災害医療の知識、意識の向上への取り組み

青西冬馬、横田耕治  
第 126 回近畿救急医学研究会  
大阪市 2023.6.24

2) J - RCSQ 導入による重症患者の睡眠に関する分析

宮崎 健、木村（茶谷）京香、山田かの子

第 51 回日本集中治療医学会学術集会  
札幌市 2024.3.14

4 S 病棟

1) 小児（6 歳未満）2 例と国際初の COVID-19 陽性ドナーからの脳死下臓器提供を経験して～臓器提供についての今後の課題

中田三樹子

第 57 回日本臨床腎移植学会  
名古屋市 2024.2.14～16

2) ダラツムマブ皮下注射における直針の使用感に関する看護師へのアンケート調査 4 S 病棟

川嶋頼子

第 38 回日本がん看護学会学術集会  
神戸市 2024.2.24～25

3) 混合病棟におけるキャリア初期看護師のペアナース導入による身体的・心理的影響

富山真理、浅井加奈子、川嶋頼子

第 42 回 近江八幡市立総合医療センター看護研究発表会  
近江八幡市 2024.3.9

患者総合支援課

1) 外来で勤務する非正規看護職員が現職場で勤務継続できる要因

谷川摩里子

第 27 回 日本看護管理学会学術集会  
東京 2023.8.25～26

2) 自分も家族も大切にするアドバンス・ケア・プランニング  
木本美由紀

第 19 回 東近江医療圏域がん診療公開講座  
東近江市 2023.11.3

3) 退院調整看護師に必要な能力の明確化

白川久美、中野かおり、橋本佳代、藤井友紀

第 42 回 近江八幡市立総合医療センター看護研究発表会  
近江八幡市 2024.3.9

看護管理室

1) 看護管理視点からのハイケアユニット導入の成果

吉永典子 横山愛功 白井直美

第 61 回全国自治体病院学会  
札幌市 2023.8.31～9.1

2) HCU 開設による効果～ドナベディアンモデルを用いて～

吉永典子 横山愛功 白井直美

第 20 回 日本医療マネジメント学会京滋支部学術集会  
長浜市 2023.10.28

## 事務部

1) アウトカム評価に基づいたパス見直しについて  
池田裕樹

MDV ユーザー会関西地区勉強会

大阪市 2023.4.18

2) ハイケアユニットを開設したことによる病院経営への影響について

池田裕樹、櫛村宏美、田井中悦史、林 宏樹、  
吉永典子、安田貴裕、木村辰之、白山武司、  
宮下浩明

第 61 回全国自治体病院学会  
札幌市 2023.8.31～9.1

# 4 各種統計



# 令和5年度 近江八幡市病院事業決算報告書

## (1) 収益の収入及び支出

支 出		予 算				決 算				備 考	
区分	当初予算額	補 正 予 算 額		算 翻 額		合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考		
		地方公営企業法第24条 第3項の規定による支出額 に係る財源充当額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による支出額 に係る財源充当額	合 計	決 算 額						
第1款 病院事業収益	15,283,000,000	566,830,000	円	0	15,849,830,000	円	15,338,916,298	△ 510,913,792	△ 556,221,757	うち仮受消費税 26,450,879	
第1項 医業収益	14,425,657,000	418,588,000	円	0	14,844,245,000	円	14,288,023,243	△ 450,879	△ 45,307,965	うち仮受消費税 11,864,808	
第2項 医業外収益	857,343,000	148,242,000	円	0	1,005,585,000	円	1,050,892,965				

支 出		予 算				決 算				備 考	
区分	当初予算額	補 正 予 算 額		算 翻 額		合 計	決 算 額	不 用 額	備 考		
		地方公営企業法第 24条第3項の規定 による支出額	地方公営企業法第 24条第3項の規定 による支出額	合 計	決 算 額						
第1款 病院事業費用	15,283,000,000	566,830,000	円	0	15,849,830,000	円	15,186,161,910	0	663,668,090	うち仮受消費税 421,434,875	
第1項 医業費用	14,866,005,000	566,830,000	円	0	15,432,835,000	円	14,787,846,375	0	644,988,625	うち仮受消費税 5,169,386	
第2項 医業外費用	406,666,000	0	円	0	406,666,000	円	392,986,535	0	13,679,465		
第3項 特別損失	5,329,000	0	円	0	5,329,000	円	5,329,000	0	0		
第4項 予備費	5,000,000	0	円	0	5,000,000	円	5,000,000	0	5,000,000		

## (2) 資本的収入及び支出

入 収

区分	予 算			決 算 領	予 算 領 に 比べ 決 算 領 の 増減	備 考
	当 初 予 算 領	補 正 予 算 領	小 計			
第 1 款 資 本 的 収 入	417,581,000	0	417,581,000	円 0	417,581,000	円 376,720,000
第 1 項 企 業 債 債 金	300,000,000	0	300,000,000	円 0	300,000,000	△ 250,000,000
第 2 項 出 資 金	117,581,000	0	117,581,000	円 0	117,581,000	△ 117,581,000
第 3 項 補 助 金	0	0	0	円 0	0	550,000
第 4 項 投 資 債 債 還 収 入	0	0	0	円 0	0	8,589,000

区分	算				備考
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小計	
第1款 資本的支出	1,697,291,000	円	0	1,697,291,000	円
第1項 建設改良費	629,234,000	0	0	629,234,000	円
第2項 企業償還金	1,030,457,000	0	0	1,030,457,000	円
第3項 投資	37,600,000	0	0	37,600,000	円
					80,078,331
					71,978,149
					5,000,182
					3,100,000
					50,659,623
					うち仮払消費税

資本の収入額が、資本の支出額に不足する額 1,240,492,669円は、消費税及び地方消費税資本の、資本の収入額が、資本の支出額に不足する額 1,232,625円および過年度損益勘定留保資金 1,239,260,044円で補てんした。

# 令和5年度 近江八幡市病院事業貸借対照表

(令和6年3月31日)

## 資 産 の 部

円                   円                   円

### 1. 固 定 資 產

#### (1) 有 形 固 定 資 產

イ 土	地	1,702,987,189
ロ 建	物	13,987,455,701
減 価 償 却 累 計 額		△ 5,346,508,564
		8,640,947,137
ハ 構 築	物	116,943,100
減 価 償 却 累 計 額		△ 71,435,758
		45,507,342
ニ 器 械 備 品		8,451,752,149
減 価 償 却 累 計 額		△ 5,896,996,535
ホ 車 両 及 び 運 搬 具		2,554,755,614
減 価 償 却 累 計 額		78,688,794
		△ 71,573,027
ヘ リ 一 ス 資 產		83,778,700
減 価 償 却 累 計 額		△ 79,589,765
<b>有形固定資産合計</b>		<b>4,188,935</b>
		12,955,501,984

#### (2) 無 形 固 定 資 產

イ 電 話 加 入 権	4,050,800	
<b>無形固定資産合計</b>		<b>4,050,800</b>

#### (3) 投資その他の資産

イ 長 期 貸 付 金	194,189,900	
ロ 長 期 貸 付 金 返 済 免 除 引 当 金	△ 151,209,900	
	42,980,000	
ハ 長 期 前 払 消 費 税	169,913,619	
<b>投資その他の資産合計</b>		<b>212,893,619</b>

### 固 定 資 產 合 計

**13,172,446,403**

### 2. 流 動 資 產

#### (1) 現 金 預 金

6,511,357,715

#### (2) 未 収 金

2,435,175,659

#### (3) 貸 倒 引 当 金

△ 3,993,261

#### (4) 貯 藏 品

イ 薬	品	59,789,850
<b>貯藏品合計</b>		<b>59,789,850</b>

### 流 動 資 產 合 計

**9,002,329,963**

### 資 產 合 計

**22,174,776,366**

## 負 債 の 部

### 3. 固定負債

(1) 企 業 債		
イ 建設改良費等企業債	<u>8,120,638,823</u>	
<b>企業債合計</b>		8,120,638,823
(2) 引 当 金		
イ 退職給付引当金	2,475,903,581	
ロ 修繕引当金	<u>158,560,284</u>	
<b>引当金合計</b>		<u>2,634,463,865</u>
<b>固定負債合計</b>		10,755,102,688

## 固定負債合計

#### 4. 流 動 負 債

(1) 企 業 債	
イ 建設改良費等企業債	<u>999,753,975</u>
<b>企 業 債 合 計</b>	<b>999,753,975</b>
(2) 未 払 金	1,229,854,257
(3) 引 当 金	
イ 賞与等引当金	<u>459,834,970</u>
<b>引 当 金 合 計</b>	<b>459,834,970</b>
(4) その他流動負債	<u>37,058,085</u>
<b>流動負債合計</b>	<b>2,726,501,287</b>

### 流動負債合計

## 5. 緑 延 収 益

(1) 長期前受金	1, 144, 586, 929
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 613, 448, 534

## 緯 延 収 益 合 計

### 負 債 合 計

# 資 本 の 部

## 6. 資 本 金

(1) 資 本 金 9,482,277,551

## 資 本 金 合 計

## 7. 剩 余 金

(1) 利益剰余金	
イ 減 債 積 立 金	2,292,000
口 当 年 度 未 处 理	
欠 損 金	<u>△ 1,322,535,555</u>
<b>利 益 剰 余 金 合 計</b>	△ 1,320,243,555

### 剩 余 金 合 計

## 資 本 合 計

## 負 債 · 資 本 合 計

# 令和5年度 近江八幡市病院事業損益計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1. 医業収益		円	円
(1) 入院収益	9,885,460,522		
(2) 外来収益	3,793,169,205		
(3) その他医業収益	582,942,637		
		<b>14,261,572,364</b>	
2. 医業費用			
(1) 給与費	7,154,261,814		
(2) 材料費	4,011,973,056		
(3) 経費	2,063,564,971		
(4) 減価償却費	906,569,632		
(5) 資産減耗費	2,188,001		
(6) 研究研修費	36,715,619		
		<b>14,175,273,093</b>	
医業利益（又は△医業損失）			86,299,271
3. 医業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	2,291,452		
(2) 補助金	183,086,717		
(3) 長期前受金戻入	43,468,602		
(4) 保育所収益	5,603,214		
(5) 沖島診療所収益	4,539,387		
(6) 受託研究収益	47,860,030		
(7) 保険金	275,000		
(8) 他会計負担金	646,875,000		
(9) その他医業外収益	105,028,755		
		<b>1,039,028,157</b>	
4. 医業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	160,736,362		
(2) 長期前払消費税勘定償却	56,637,873		
(3) 看護師養成費	38,400,000		
(4) 保育所費	35,370,768		
(5) 沖島診療所運営費	8,163,591		
(6) 受託研究費	15,336,974		
(7) 雑損失	456,383		
(8) 雑支出	654,013,584		
		<b>969,115,535</b>	69,912,622
経常利益（又は△経常損失）			156,211,893
5. 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	5,329,000		
		<b>5,329,000</b>	5,329,000
当年度純利益（又は△当年度純損失）			150,882,893
前年度繰越利益剰余金（又は△前年度繰越欠損金）			△ 1,473,418,448
当年度未処分利益剰余金（又は△当年度未処理欠損金）			△ 1,322,535,555

## 病院事業 医業収益・費用の詳細

(単位:千円)

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額
医業収益	12,506,151	13,563,088	14,261,572
入院収益	8,498,016	9,469,560	9,885,461
外来収益	3,409,705	3,512,280	3,793,169
その他医業収益	598,429	581,248	582,942
室料差額収益	89,785	84,390	84,884
医療相談収益	133,993	132,686	141,668
他会計負担金	305,401	305,401	305,401
その他医業収益	69,250	58,771	50,989
医業費用	13,224,848	13,566,284	14,175,273
給与費	6,915,110	6,996,445	7,154,262
報酬	0	0	0
医師給	958,291	940,286	946,399
看護師給	1,423,817	1,427,120	1,479,812
医療技術員給	406,450	418,079	434,288
事務員給	259,067	267,407	272,543
労務員給	81,864	88,011	84,701
医師手当	972,890	971,756	964,368
看護師手当	863,482	875,147	931,941
医療技術員手当	212,828	217,200	223,986
事務員手当	87,611	99,003	98,724
労務員手当	25,405	26,420	26,593
賃金	0	0	0
法定福利費	908,088	913,994	926,530
退職給与金	317,594	354,137	304,542
賞与等引当金繰入額	397,723	397,885	459,835
材料費	3,455,669	3,608,753	4,011,973
薬品費	1,808,319	1,940,252	2,154,313
診療材料費	1,613,767	1,633,744	1,806,088
医療消耗備品費	33,583	34,757	51,572
経費	1,937,194	2,047,598	2,063,565
厚生福利費	16,085	16,454	13,918
報償費	1,438	915	1,332
旅費交通費	976	1,052	925
職員被服費	1,034	920	1,278
消耗品費	69,191	48,469	54,055
消耗備品費	7,731	9,200	9,807
光熱水費	150,917	193,881	168,292
燃料費	48,006	52,359	51,670
食糧費	7	17	257
印刷製本費	3,120	4,253	3,848
修繕料	68,786	70,540	75,619
保険料	17,993	19,839	16,472
賃借料	150,140	174,753	191,261
通信運搬費	13,756	13,598	12,764
委託料	1,360,314	1,410,094	1,433,928
諸会費	3,739	3,274	3,266
補償費及び賠償金	0	0	4
貸倒引当金繰入額	3,589	3,867	3,917
雜費	20,372	24,113	20,952
減価償却費	880,870	868,408	906,569
建物減価償却費	338,592	333,218	348,358
構築物減価償却費	7,944	7,944	8,729
器械備品減価償却費	529,928	526,491	548,727
車両及び運搬具減価償却費	755	755	755
リース資産減価償却費	3,651	0	0
資産減耗費	9,910	13,067	2,188
固定資産除却費	9,910	13,067	2,188
研修研究費	26,096	32,013	36,716
旅費	1,659	6,291	10,403
謝金	370	345	358
図書費	15,007	15,170	15,417
諸会費	7,487	8,866	9,338
研究雜費	1,572	1,341	1,200
医業損益	▲ 718,697	▲ 3,196	86,299

## 患者状況

### (1) 利用者数

區 分		令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		對 前 年 度 比 較		診 療 日 數	
入 院	延 人 員	118,681 人		2,998 人		102.5 %		令 和 5 年 度 366 日	
		1 日 平 均	332	325	7	102.2	令 和 4 年 度 365 日		
外 来	延 人 員	211,870	214,821	-2,951	98.6	98.6	令 和 5 年 度 243 日		
		1 日 平 均	872	884	-12	98.6	令 和 4 年 度 243 日		
計	延 人 員	333,549	333,502	47	100.0	100.0			
		1 日 平 均	1,204	1,209	-5	-5	99.6		

## (2) 各科別延患者者数

(3) 各科別一日平均患者数

(単位：人)

区分	内科	外科	整形外科	麻酔科	脳神経外科	小兒科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻喉科・頭頸外科	眼科	脳神経内科	腎臓センター(透析センター)	放射線科	循環器内科	消化器内科	健診センター	内科	小児外科	代謝・内分泌内科	腎臓内科	血液内科	内科	心臓血管外科	禁煙外来	禁煙外来	成形外科	リウマチ原病内科	呼吸器外科	計
入院	13	26	49	0	23	28	24	6	11	4	2	6	0	0	34	40	2	7	27	15	0	0	10	5	0	0	332			
外来	28	54	61	2	24	66	62	49	40	29	37	30	76	8	21	61	65	11	33	44	26	12	0	12	16	5	0	872		
計	41	80	110	2	47	94	86	55	51	33	39	36	76	8	21	95	105	13	40	71	41	12	0	22	21	5	0	1,204		

(4) 住所別患者数

(単位：患者数(人)、率(%)

区分	市内	市内	竜王町	東近江市	日野町	野洲市	彦根市	その他	県外	計
入院	延患者数	65,303	7,860	30,776	1,290	3,029	3,744	7,930	1,747	121,679 人
	率	53.7	6.5	25.3	1.1	2.4	3.1	6.5	1.4	100.0 %
院外	延患者数	62,038	7,776	29,981	1,344	3,247	4,072	8,376	1,847	118,681 人
	率	52.3	6.6	25.3	1.1	2.7	3.4	7.1	1.5	100.0 %
外来	延患者数	123,469	10,825	48,592	2,109	5,750	5,713	13,105	2,307	211,870 人
	率	58.3	5.1	22.9	1.0	2.7	2.7	6.2	1.1	100.0 %
計	延患者数	124,530	10,976	48,976	2,271	6,486	5,560	13,302	2,720	214,821 人
	率	58.0	5.1	22.8	1.1	3.0	2.6	6.2	1.2	100.0 %

## 事業収入に関する事項

区分	令和5年度	構成比	令和4年度	構成比	対前年度比較		
					円	%	円
入院収益	9,885,460,522	64.608	9,469,560,499	62.665	415,900,023	104.4%	104.4%
外来収益	3,793,169,205	24.791	3,512,279,890	23.243	280,889,315	108.0%	108.0%
その他医業収益	582,942,637	3.810	581,247,766	3.846	1,694,871	100.3%	100.3%
受取利息及び配当金	2,291,452	0.015	2,014,271	0.013	277,181	113.8%	113.8%
補助金	183,086,717	1.197	717,887,642	4.751	△ 534,800,925	25.5%	25.5%
長期前受金戻入	43,468,602	0.284	42,060,780	0.278	1,407,822	103.3%	103.3%
保育所収益	5,603,214	0.037	4,385,797	0.029	1,217,417	127.8%	127.8%
沖島診療所収益	4,539,387	0.030	4,043,976	0.027	495,411	112.3%	112.3%
受託研究収益	47,860,030	0.313	50,917,722	0.337	△ 3,057,692	94.0%	94.0%
保険金	275,000	0.002	0	0.000	275,000	皆増	皆増
他会計負担金	646,875,000	4.228	613,098,000	4.057	33,777,000	105.5%	105.5%
その他医業外収益	105,028,755	0.686	113,912,509	0.754	△ 8,883,754	92.2%	92.2%
計	15,300,600,521	100.00	15,111,408,852	100.00	189,191,669	101.3%	101.3%

## 事業費に関する事項

区分	分	令和5年度	構成比	令和4年度	構成比	対前年度比較	
						円	%
給	与 費	7,154,261,814	47.22	6,996,445,458	48.14	157,816,356	102.3%
材	料 費	4,011,973,056	26.48	3,608,752,946	24.83	403,220,110	111.2%
経	費	2,063,564,971	13.62	2,047,598,103	14.09	15,966,868	100.8%
減	価 償 却 費	906,569,632	5.98	868,407,733	5.98	38,161,899	104.4%
資	産 減 耗 費	2,188,001	0.01	13,066,958	0.09	△ 10,878,957	16.7%
研	究 研 修 費	36,715,619	0.24	32,013,068	0.22	4,702,551	114.7%
支	払利息及び企業債取扱諸費	160,736,362	1.06	169,205,572	1.16	△ 8,469,210	95.0%
長	期前払消費税勘定償却	56,637,873	0.37	56,637,873	0.39	0	100.0%
看	護 師 着 成 費	38,400,000	0.25	36,600,000	0.25	1,800,000	104.9%
保	育 所 費	35,370,768	0.23	32,796,720	0.23	2,574,048	107.8%
沖	島 診 療 所 運 営 費	8,163,591	0.05	8,257,223	0.06	△ 93,632	98.9%
受	託 研 究 費	15,336,974	0.10	12,767,453	0.09	2,569,521	120.1%
雜	損 失	456,383	0.00	1,142,567	0.01	△ 686,184	39.9%
雜	支 出	654,013,584	4.32	649,201,269	4.47	4,812,315	100.7%
特	別 損 失	5,329,000	0.04	0	0.00	5,329,000	皆増
	計	15,149,717,628	100.00	14,532,892,943	100.00	616,824,685	104.2%

## その他各種データ

### 手術件数表（令和5年度）

2023年4月1日～2024年3月31日

(単位：件)

麻酔	科	外科	整形	産婦	脳外	耳鼻	泌尿	小外	心外	眼科	皮膚	形成	腎内	循内	その他	合計
全麻	麻酔科管理	570	573	281	61	212	85	149	103	9	11	122	4	4	1	2,185
	麻酔科非管理	0	0	0	1	0	1	0	0	6	0	0	1	0	0	9
脊麻	麻酔科管理	3	36	91	0	0	1	0	0	0	0	8	2	0	0	141
	麻酔科非管理	21	171	48	0	0	230	0	0	0	0	7	0	0	0	477
硬麻	麻酔科管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	麻酔科非管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
伝麻	麻酔科管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
	麻酔科非管理	58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	25	0	1	86
静麻	麻酔科管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	麻酔科非管理	2	6	47	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	79
局麻	麻酔科管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	麻酔科非管理	45	88	0	55	36	19	0	75	758	148	256	66	48	5	1,599
その他	麻酔科管理	0	6	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	麻酔科非管理	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	5
合計	麻酔科管理	573	615	377	61	212	87	149	104	9	19	125	4	4	1	2,340
	麻酔科非管理	68	325	96	58	36	251	0	82	758	150	291	67	69	5	2,256
総計		641	940	473	119	248	338	149	186	767	169	416	71	73	6	4,596

休日緊急手術															
全麻	麻許科管理	76	麻許科管理	72											
	麻許科非管理	1	麻許科非管理	0											
脊麻	麻許科管理	5	麻許科管理	7											
	麻許科非管理	12	麻許科非管理	6											
局麻	麻許科管理	0	麻許科管理	0											
	麻許科非管理	13	麻許科非管理	11											
その他	麻許科管理	0	麻許科管理	1											
	麻許科非管理	3	麻許科非管理	1											
合計	麻許科管理	81	麻許科管理	80											
	麻許科非管理	29	麻許科非管理	18											

時間外緊急手術															
全麻	麻許科管理	76	麻許科管理	72											
	麻許科非管理	1	麻許科非管理	0											
脊麻	麻許科管理	5	麻許科管理	7											
	麻許科非管理	12	麻許科非管理	6											
局麻	麻許科管理	0	麻許科管理	0											
	麻許科非管理	13	麻許科非管理	11											
その他	麻許科管理	0	麻許科管理	1											
	麻許科非管理	3	麻許科非管理	1											
合計	麻許科管理	81	麻許科管理	80											
	麻許科非管理	29	麻許科非管理	18											

稼働日： 243日

## 令和5年度 救急発生状況（東近江行政組合消防本部データから）

(単位:件)

月	近江八幡市			東近江市				日野町			愛荘町		名神上 愛知川	管外	合計
	近江八幡市	安土町地区	八日市地区	永源寺地区	五個荘地区	湖東地区	能登川地区	蒲生地区	日野町	竜王町	秦莊	愛荘			
令和5年 4月	317	36	168	27	40	13	40	109	45	91	47	38	39	2	0
令和5年 5月	338	40	190	15	34	14	32	98	43	71	44	32	50	5	0
令和5年 6月	321	43	204	14	52	14	30	71	39	75	67	37	60	3	1
令和5年 7月	398	56	241	19	51	29	39	107	58	83	72	30	66	6	0
令和5年 8月	464	43	260	21	53	20	37	110	58	115	67	30	54	5	0
令和5年 9月	404	43	213	25	38	13	36	102	40	80	48	28	59	6	1
令和5年10月	340	41	166	17	43	23	30	87	35	85	48	35	49	3	2
令和5年11月	309	51	186	19	52	10	45	81	46	80	39	22	34	8	0
令和5年12月	351	49	220	24	52	24	26	87	54	79	58	25	61	2	0
令和6年 1月	386	41	187	19	51	16	32	86	52	108	69	38	48	6	0
令和6年 2月	297	54	158	20	48	19	26	89	41	65	33	30	45	6	0
令和6年 3月	356	48	208	21	47	18	40	92	58	81	48	31	48	4	0
合計	4,281	545	2,401	241	561	213	413	1,119	569	1,013	640	376	613	56	4
															13,045

## 搬送状況

月	救急件数	当院搬送	管内合計	管内収容率	管外合計
令和5年 4月	1,012	486	851	90.8%	86
令和5年 5月	1,006	498	817	88.4%	107
令和5年 6月	1,031	496	842	87.0%	126
令和5年 7月	1,255	595	1,031	90.1%	113
令和5年 8月	1,337	603	1,063	88.6%	137
令和5年 9月	1,136	549	941	90.6%	98
令和5年10月	1,004	495	813	87.8%	113
令和5年11月	982	466	815	89.4%	97
令和5年12月	1,112	504	908	89.9%	102
令和6年 1月	1,139	535	917	88.9%	115
令和6年 2月	931	420	745	88.3%	99
令和6年 3月	1,100	535	914	90.3%	98
合計	13,045	6,182	10,657	89.2%	1,291

# 病院事業経営分析指標

	令和5年度	参考:R4年度	比較	備考
固定負債構成比率	48.5 %	50.9 %	-2.4	固定負債/負債資本合計 × 100 総資本に対する固定負債の率。比率が低いほど良好。
自己資本構成比率	39.2 %	37.7 %	1.5	(資本金+剰余金+繰延収益)/負債資本合計 × 100 総資本に対する自己資本の率。 比率が高いほど経営の安定性が高い。
流動資産対固定資産比率	68.3 %	64.8 %	3.5	流動資産/固定資産 × 100 固定資産に対する流動資産の率。 比率が高いほど良好。
固定資産対長期資本比率	67.7 %	68.5 %	-0.8	固定資産/(資本合計+固定負債+繰延収益) × 100 自己資本が、いくら運転資本を供給しつつあるかを表したもの。 標準比率は100%以下で低いほど良好。
固定比率	151.5 %	161.1 %	-9.6	固定資産/(資本金+剰余金+繰延収益) × 100 固定資産を自己資本でまかなっている割合。 比率が低いほど良好。
流動比率	330.2 %	342.4 %	-12.2	流動資産/流動負債 × 100 企業の支払い能力を表す。 標準比率は200%以上で高いほど良好。
当座比率	328.0 %	340.4 %	-12.4	(現金預金+未収金-貸倒引当金)/流動負債 × 100 流動比率より一層厳密にしたもので、即時支払能力を表す。 標準比率は100%以上で高いほど良好。
現金比率	238.8 %	214.7 %	24.1	現金預金/流動負債 × 100 流動負債に対する現金預金の割合。 比率は20%以上が良いとされ、高いほど良好。
未収比率	11.0 %	14.5 %	-3.5	未収金/資産合計 × 100 総資産に対する未収金の率。比率が低いほど良好。
資産負債比率	158.2 %	154.1 %	4.1	資産合計/負債合計 × 100 負債に対する資産の率。 標準比率は100%以上で高いほど良好。
資本負債比率	58.2 %	54.1 %	4.1	(自己資本金+剰余金)/負債合計 × 100 負債に対する資本の率。比率が高いほど良好。
未収金回転率	5.0 回	4.0 回	1.0	医業収益/(未収金(期首+期末)/2) 率が低いほど未収金の性質を劣悪にし、高いほど良好。
流動資産回転率	1.6 回	1.5 回	0.1	医業収益/(流動資産(期首+期末)/2) 流動資産の使用・利用度を表す。率が高いほど流動資産が効率的に売上に結び付いていることを示す。
貯蔵品回転率	34.5 回	31.8 回	2.7	(貯蔵品(期首+当期購入額-期末)/(貯蔵品(期首+期末)/2) 率が高いほどこれに対する投下資本が少なくてすむ。
総収支比率	101.0 %	104.0 %	-3.0	総収入/総費用 × 100 企業の全活動の能率を表す。比率が高いほど良好。
医業収益対医業費用比率	100.6 %	100.0 %	0.6	医業収益/医業費用 × 100 営業活動の能率効果測定を判断されるもので、経営の良否がうかがえる。比率が高いほど良好。
利益効率	1.0 %	3.8 %	-2.8	純利益/総収入 × 100 総収入に対する利益の測定。比率が高いほど良好。
経常収支比率	101.0 %	104.0 %	-3.0	経常収益/経常費用 × 100 経常的な収益と費用の関連を表す。 比率が高いほど良好。
企業債元利償還金対料金収入比率	8.7 %	9.4 %	-0.7	企業債元利償還金/料金収入 × 100 企業債元利償還金と料金収入の関連を表す。 比率が低いほど良好。
他会計繰入金対医業収益との比率	6.7 %	4.5 %	2.2	収益的収支への他会計繰入金/医業収益 × 100 収益的収支への他会計繰入金と医業収益の関連を表す。 比率が低いほど堅実。

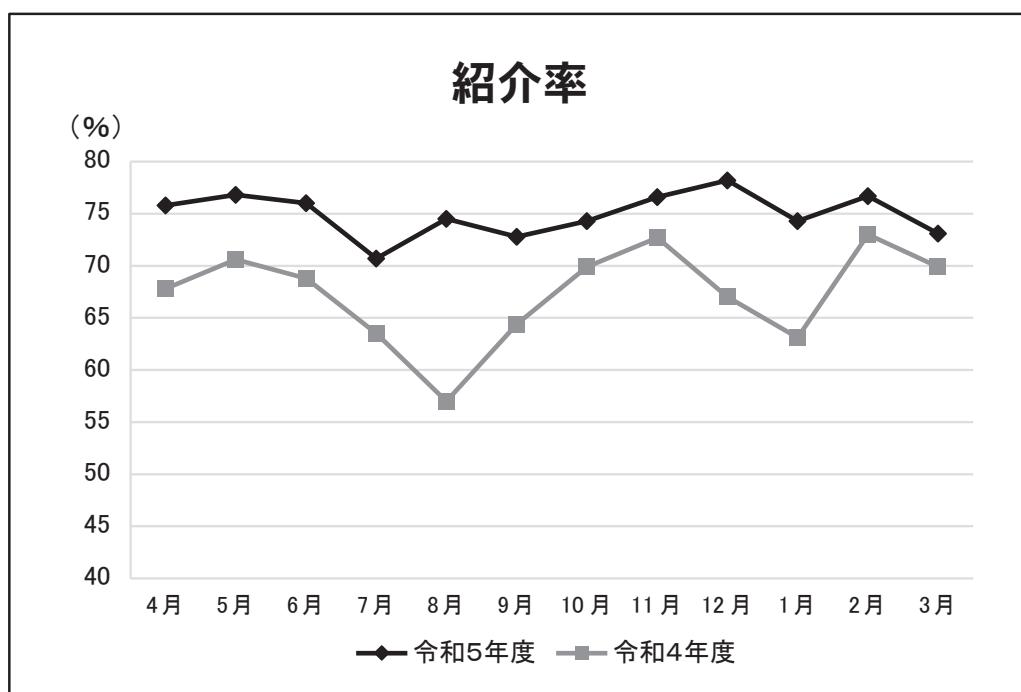
## 紹介率

### ◇ 紹介率算出式

$$\frac{\text{初診紹介患者数}}{\text{初診患者数} - \text{初診時間外外来患者数}} \times 100$$

### ◇ 紹介率実績推移

	初診患者数	初診紹介患者数	初診時間外外来患者数	紹介率
令和5年 4月	1,378 人	777 人	353 人	75.8%
令和5年 5月	1,399 人	770 人	397 人	76.8%
令和5年 6月	1,446 人	865 人	308 人	76.0%
令和5年 7月	1,443 人	752 人	380 人	70.7%
令和5年 8月	1,520 人	831 人	404 人	74.5%
令和5年 9月	1,356 人	750 人	326 人	72.8%
令和5年10月	1,381 人	799 人	306 人	74.3%
令和5年11月	1,258 人	759 人	267 人	76.6%
令和5年12月	1,302 人	767 人	321 人	78.2%
令和6年 1月	1,376 人	767 人	344 人	74.3%
令和6年 2月	1,225 人	733 人	269 人	76.7%
令和6年 3月	1,273 人	706 人	307 人	73.1%
年度計	16,357 人	9,276 人	3,982 人	75.0%



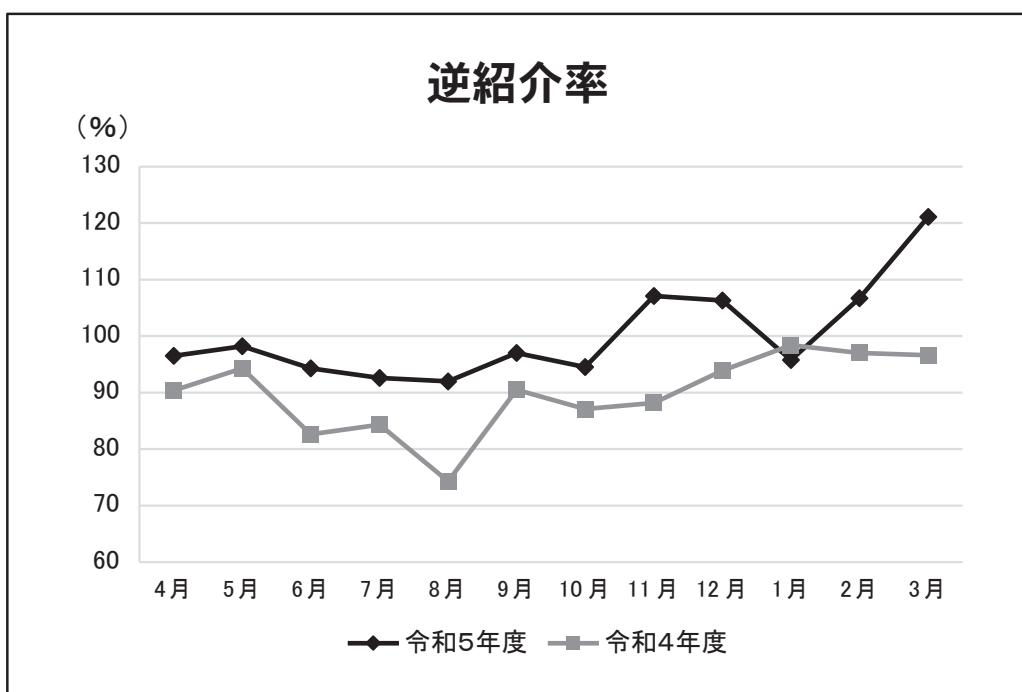
## 逆紹介率

### ◇ 逆紹介率算出式

$$\frac{\text{診療情報提供料}}{\text{初診患者数} - \text{初診時間外外来患者数}} \times 100$$

### ◇ 逆紹介率実績推移

	初診患者数	初診時間外外来患者数	診療情報提供料	逆紹介率
令和5年 4月	1,378 人	353 人	989 件	96.5%
令和5年 5月	1,399 人	397 人	984 件	98.2%
令和5年 6月	1,446 人	308 人	1,073 件	94.3%
令和5年 7月	1,443 人	380 人	984 件	92.6%
令和5年 8月	1,520 人	404 人	1,027 件	92.0%
令和5年 9月	1,356 人	326 人	999 件	97.0%
令和5年10月	1,381 人	306 人	1,016 件	94.5%
令和5年11月	1,258 人	267 人	1,061 件	107.1%
令和5年12月	1,302 人	321 人	1,043 件	106.3%
令和6年 1月	1,376 人	344 人	989 件	95.8%
令和6年 2月	1,225 人	269 人	1,020 件	106.7%
令和6年 3月	1,273 人	307 人	1,170 件	121.1%
年度計	16,357 人	3,982 人	12,355 件	99.8%





# 5 入院病歴統計

令和 5 年度（2023年 4 月～2024年 3 月）



## 1. 退院患者数(科別・性別)

(単位:人)

科名	男	女	総数	科別入院率(%)
総合内科	167	160	327	3.2%
外科	551	404	955	9.4%
整形外科	393	484	877	8.6%
脳神経外科	234	153	387	3.8%
小児科	718	635	1353	13.3%
産婦人科	0	917	917	9.0%
皮膚科	69	56	125	1.2%
泌尿器科	392	119	511	5.0%
耳鼻咽喉科頭頸部外科	139	131	270	2.6%
眼科	130	143	273	2.7%
脳神経内科	77	51	128	1.3%
循環器内科	711	451	1162	11.4%
消化器内科	889	527	1416	13.9%
小児外科	104	90	194	1.9%
代謝・内分泌内科	97	89	186	1.8%
腎臓内科	314	261	575	5.6%
血液内科	137	103	240	2.4%
心臓血管外科	102	63	165	1.6%
形成外科	96	54	150	1.5%
総数	5320	4891	10211	100%

## 2. 退院患者数(科別・月別)

(単位:人)

科名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
総合内科	29	21	25	21	41	27
外科	79	74	91	91	82	86
整形外科	71	60	76	57	82	65
脳神経外科	46	26	31	29	26	28
小児科	112	133	150	149	137	102
産婦人科	66	66	60	82	86	73
皮膚科	14	9	9	10	10	12
泌尿器科	42	45	62	40	40	35
耳鼻咽喉科頭頸部外科	18	19	24	22	23	28
眼科	21	19	24	22	22	22
脳神経内科	9	9	8	12	9	7
循環器内科	91	83	110	86	84	99
消化器内科	106	110	125	125	119	125
小児外科	12	19	14	11	22	12
代謝・内分泌内科	16	16	19	16	14	15
腎臓内科	40	54	47	49	54	52
血液内科	14	17	20	23	19	14
心臓血管外科	13	15	13	13	17	18
形成外科	7	10	11	17	16	11
総数	806	805	919	875	903	831

(単位:人)

科名	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
総合内科	25	26	30	26	22	34	327
外科	71	72	78	62	73	96	955
整形外科	83	72	97	66	70	78	877
脳神経外科	30	47	34	22	33	35	387
小児科	106	89	96	98	89	92	1353
産婦人科	79	82	93	83	69	78	917
皮膚科	14	6	16	8	11	6	125
泌尿器科	48	46	47	31	39	36	511
耳鼻咽喉科頭頸部外科	26	24	21	15	26	24	270
眼科	24	30	20	21	24	24	273
脳神経内科	10	12	16	13	14	9	128
循環器内科	99	103	119	96	94	98	1162
消化器内科	125	107	122	119	106	127	1416
小児外科	15	11	21	18	21	18	194
代謝・内分泌内科	18	15	17	10	14	16	186
腎臓内科	41	51	47	45	49	46	575
血液内科	20	18	30	22	26	17	240
心臓血管外科	12	14	14	14	12	10	165
形成外科	12	11	17	6	14	18	150
総数	858	836	935	775	806	862	10211

## 3. 退院患者数(病棟別)

(単位:人)

病棟	救命救急	集中治療室	3N	3E	NICU	3S	3W
総合内科	18	5	7	1	0	11	4
外科	4	0	94	3	0	6	3
整形外科	2	0	20	57	0	36	632
脳神経外科	17	2	2	6	0	305	1
小児科	12	3	13	1195	95	0	0
産婦人科	0	0	909	2	0	1	0
皮膚科	0	0	2	1	0	8	44
泌尿器科	2	2	2	0	0	6	2
耳鼻咽喉科頭頸部外科	1	0	2	32	0	1	1
眼科	0	0	5	4	0	10	0
脳神経内科	7	0	0	0	0	90	1
循環器内科	15	6	0	0	0	14	1
消化器内科	16	5	82	16	0	40	8
小児外科	0	0	1	193	0	0	0
代謝・内分泌内科	7	0	3	1	0	7	87
腎臓内科	9	1	3	1	0	452	3
血液内科	3	1	0	0	0	4	1
心臓血管外科	0	8	0	1	0	0	1
形成外科	5	1	9	21	0	5	59
総数	118	34	1154	1534	95	996	848

(単位:人)

病棟	4N	4E	4S	4W	5C	総数
総合内科	189	28	21	42	1	327
外科	13	670	150	11	1	955
整形外科	30	8	73	19	0	877
脳神経外科	8	3	34	8	1	387
小児科	35	0	0	0	0	1353
産婦人科	1	0	3	0	1	917
皮膚科	11	3	41	15	0	125
泌尿器科	302	2	185	8	0	511
耳鼻咽喉科頭頸部外科	227	1	5	0	0	270
眼科	0	0	254	0	0	273
脳神経内科	2	2	21	5	0	128
循環器内科	27	8	17	1069	5	1162
消化器内科	101	887	195	63	3	1416
小児外科	0	0	0	0	0	194
代謝・内分泌内科	27	9	18	27	0	186
腎臓内科	39	6	23	35	3	575
血液内科	17	2	199	12	1	240
心臓血管外科	0	0	0	153	2	165
形成外科	23	0	24	2	1	150
総数	1052	1629	1263	1469	19	10211

## 4. 平均在院日数(科別) (単位:日)

科名	入院日数の平均
総合内科	14.7
外科	10.4
整形外科	20.6
脳神経外科	20.7
小児科	7.6
産婦人科	9.8
皮膚科	17.6
泌尿器科	7.8
耳鼻咽喉科頭頸部外科	5.9
眼科	3.3
脳神経内科	16.7
循環器内科	10.3
消化器内科	10.2
小児外科	4.2
代謝・内分泌内科	13.4
腎臓内科	17.0
血液内科	23.2
心臓血管外科	20.8
形成外科	11.8
全体	11.9

## 5. 入院経路(科別)

(単位:人)

科名	外来 (紹介有)	外来 (紹介無)	救急 (紹介有)	救急 (紹介無)	その他 院内出生	総数
総合内科	29	11	133	154	0	327
外科	570	184	111	90	0	955
整形外科	405	107	130	235	0	877
脳神経外科	54	23	68	242	0	387
小児科	180	201	345	360	267	1353
産婦人科	621	176	80	40	0	917
皮膚科	74	28	12	11	0	125
泌尿器科	320	113	42	36	0	511
耳鼻咽喉科頭頸部外科	227	19	7	17	0	270
眼科	208	65	0	0	0	273
脳神経内科	11	11	39	67	0	128
循環器内科	492	292	196	182	0	1162
消化器内科	634	347	220	215	0	1416
小児外科	138	34	11	11	0	194
代謝・内分泌内科	48	14	61	63	0	186
腎臓内科	248	99	105	123	0	575
血液内科	102	50	34	54	0	240
心臓血管外科	108	28	11	18	0	165
形成外科	80	42	6	22	0	150
全体	4549	1844	1611	1940	267	10211
率(%)	44.5%	18.1%	15.8%	19.0%	2.6%	100%

## 6. 転帰(科別)

(単位:人)

科名	治癒	軽快	不变	増悪	死亡	検査終了	総数
総合内科	0	271	18	0	38	0	327
外科	2	859	78	2	13	1	955
整形外科	0	864	7	0	5	1	877
脳神経外科	1	332	11	1	24	18	387
小児科	22	1191	49	2	3	86	1353
産婦人科	0	845	61	0	4	7	917
皮膚科	0	118	1	0	2	4	125
泌尿器科	0	439	28	0	13	31	511
耳鼻咽喉科頭頸部外科	0	264	3	0	3	0	270
眼科	0	272	1	0	0	0	273
脳神経内科	0	113	7	1	7	0	128
循環器内科	0	910	15	0	44	193	1162
消化器内科	2	1141	176	1	64	32	1416
小児外科	0	173	14	0	0	7	194
代謝・内分泌内科	0	167	7	0	5	7	186
腎臓内科	0	412	85	0	33	45	575
血液内科	0	204	10	0	25	1	240
心臓血管外科	0	147	7	0	11	0	165
形成外科	0	146	2	0	2	0	150
全体	27	8868	580	7	296	433	10211
率(%)	0.3%	86.8%	5.7%	0.1%	2.9%	4.2%	100%

## 7. 退院後のフォローアップ(科別)

(単位:人)

科名	外来当院	外来他院	転院	終了 (死亡含む)	その他 施設等	総数
総合内科	20	151	54	39	63	327
外科	285	599	37	17	17	955
整形外科	190	387	281	5	14	877
脳神経外科	81	148	125	25	8	387
小児科	765	507	27	54	0	1353
産婦人科	662	243	8	4	0	917
皮膚科	33	63	13	3	13	125
泌尿器科	115	333	28	13	22	511
耳鼻咽喉科頭頸部外科	94	170	2	3	1	270
眼科	47	225	0	0	1	273
脳神経内科	18	54	36	7	13	128
循環器内科	245	774	50	46	47	1162
消化器内科	267	949	79	66	55	1416
小児外科	130	61	3	0	0	194
代謝・内分泌内科	27	112	22	6	19	186
腎臓内科	115	337	54	33	36	575
血液内科	69	126	11	25	9	240
心臓血管外科	37	108	5	11	4	165
形成外科	69	72	5	2	2	150
全体	3269	5419	840	359	324	10211
率(%)	32.0%	53.1%	8.2%	3.5%	3.2%	100%

## 8. 退院患者数 ICD10大分類(性別)

(単位:人)

ICD10大分類病名	男	女	総計	率(%)
1. 感染症, 寄生虫症	144	117	261	2.6%
2. 新生物	1001	862	1863	18.2%
3. 血液, 免疫障害など	40	47	87	0.9%
4. 内分泌, 代謝など	122	132	254	2.5%
5. 精神障害など	10	10	20	0.2%
6. 神経系	117	83	200	2.0%
7. 眼科関連	137	151	288	2.8%
8. 耳および乳様突起の疾患	33	47	80	0.8%
9. 循環器系	919	574	1493	14.6%
10. 呼吸器系	509	416	925	9.1%
11. 消化器系	778	528	1306	12.8%
12. 皮膚科関連	53	58	111	1.1%
13. 筋骨格関連	151	194	345	3.4%
14. 尿路性器系	408	394	802	7.9%
15. 妊娠, 分娩関連	0	469	469	4.6%
16. 周産期関連	171	150	321	3.1%
17. 先天奇形, 染色体異常など	42	37	79	0.8%
18. 他に分類されないもの	100	89	189	1.9%
19. 損傷, 中毒など	515	480	995	9.7%
21. 保健サービスの利用など	0	0	0	0%
22. COVID	70	53	123	1.2%
総数	5320	4891	10211	100%

## 9. ICD大分類別入院患者平均在院日数

(単位:日)

ICD10大分類病名	入院日数の平均
1. 感染症, 寄生虫症	12.3
2. 新生物	10.2
3. 血液, 免疫障害など	17.5
4. 内分泌, 代謝など	12.1
5. 精神障害など	13.3
6. 神経系	11.9
7. 眼科関連	3.2
8. 耳および乳様突起の疾患	4.7
9. 循環器系	13.3
10. 呼吸器系	12.0
11. 消化器系	8.7
12. 皮膚科関連	17.6
13. 筋骨格関連	23.2
14. 尿路性器系	9.9
15. 妊娠, 分娩関連	12.2
16. 周産期関連	14.5
17. 先天奇形, 染色体異常など	9.0
18. 他に分類されないもの	7.5
19. 損傷, 中毒など	16.0
21. 保健サービスの利用など	-
22. COVID	13.0

## 10. 死亡退院患者数(科別・性別・病棟別)

(単位:人)

科名	男	女	総数
総合内科	15	23	38
外科	8	5	13
整形外科	3	2	5
脳神経外科	15	9	24
小児科	1	2	3
産婦人科	0	4	4
皮膚科	1	1	2
泌尿器科	10	3	13
耳鼻咽喉科頭頸部外科	2	1	3
眼科	0	0	0
脳神経内科	6	1	7
循環器内科	27	17	44
消化器内科	39	25	64
小児外科	0	0	0
代謝・内分泌内科	4	1	5
腎臓内科	19	14	33
血液内科	15	10	25
心臓血管外科	6	5	11
形成外科	2	0	2
総数	173	123	296

(単位:人)

病棟	男	女	総数
救命救急	22	15	37
集中治療室	16	15	31
3 N	0	4	4
3 E	0	0	0
NICU	1	1	2
3 S	20	14	34
3 W	5	2	7
4 N	20	20	40
4 E	32	23	55
4 S	23	13	36
4 W	24	11	35
5 C	10	5	15
総数	173	123	296

## 11. 死亡退院患者数 ICD10大分類(性別)

(単位:人)

ICD10大分類病名	男	女	総 数	疾患別死亡率
1. 感染症, 寄生虫症	4	10	14	4.7%
2. 新生物	40	24	64	21.6%
3. 血液, 免疫障害など	4	1	5	1.7%
4. 内分泌, 代謝など	4	0	4	1.4%
5. 精神障害など	0	0	0	0%
6. 神経系	3	2	5	1.7%
7. 眼科関連	0	0	0	0%
8. 耳および乳様突起の疾患	0	0	0	0%
9. 循環器系	46	30	76	25.7%
10. 呼吸器系	34	23	57	19.3%
11. 消化器系	12	11	23	7.8%
12. 皮膚科関連	1	1	2	0.7%
13. 筋骨格, 結合組織関連	3	1	4	1.4%
14. 尿路性器系	2	9	11	3.7%
15. 妊娠, 分娩関連	0	0	0	0%
16. 周産期関連	1	1	2	0.7%
17. 先天奇形, 染色体異常など	0	0	0	0%
18. 他に分類されないもの	4	2	6	2.0%
19. 損傷, 中毒など	8	5	13	4.4%
21. 保健サービスの利用など	0	0	0	0%
22. COVID	7	3	10	3.4%
総 数	173	123	296	100%

12. 入院病名下位分類(ICD10大分類別)

(単位:人)

1. 感染症, 寄生虫症	
腸管感染症	89
菌血症	48
敗血症	20
帯状疱疹	7
計	261

2. 新生物	
舌, 咽頭, 喉頭	9
食道	21
胃	141
結腸	253
直腸	148
肝, 肝内胆管	85
胆囊	8
総胆管など	33
脾	63
気管支, 肺	28
乳房	84
子宮(頸, 体)	47
卵巣	100
前立腺	76
腎, 尿管	42
膀胱	101
甲状腺	8
リンパ腫など	68
血液など	60
悪性その他	74
悪性 計	1449
大腸腺腫	79
骨髄異形成症候群	16
子宮筋腫	78
卵巣腫瘍	81
良性その他	160
良性 計	414
計	1863

3. 血液, 免疫障害など	
貧血	45
紫斑病・IgA 血管炎	14
計	87

4. 内分泌, 代謝など	
糖尿病	100
脱水症	45
計	254

5. 精神障害など	
認知症	4
計	20

6. 神経系	
てんかん, けいれん	79
パーキンソン病	20
髄膜炎	10
睡眠時無呼吸症候群	7
計	200

7. 眼科関連	
白内障	259
計	288

8. 耳および乳様突起の疾患	
中耳炎	51
めまい症・メニエル病	21
計	80

9. 循環器系	
狭心症	371
心不全	189
閉塞性動脈硬化症	122
動脈瘤・解離	81
急性心筋梗塞	74
大動脈弁障害	39
陳旧性心筋梗塞・心筋虚血	11
静脈, リンパ管系疾患	7
高血圧性心腎疾患	2
脳梗塞, 脳塞栓	176
脳出血(外傷性は除く)	65
くも膜下出血(外傷性は除く)	18
計	1493

10. 呼吸器系	
肺炎	232
誤嚥性肺炎	162
気管支炎	147
気管支喘息	80
咽喉頭炎, 上気道炎	49
副鼻腔炎	40
COPD	24
間質性肺炎	22
気胸	11
計	9253

(単位:人)

11. 消化器系	
胆管炎、胆管閉塞	236
大腸ポリープ	205
腸閉塞	196
鼠径ヘルニア	160
胆石症、胆囊炎	117
急性虫垂炎	88
肝疾患	55
憩室炎・憩室出血	55
胃・十二指腸潰瘍	42
膀胱炎	41
クローン病・潰瘍性大腸炎	16
虚血性腸炎	14
計	1306

16. 周産期関連	
帝王切開症候群	93
新生児一過性多呼吸	75
早産児、低出生体重児	74
計	321

17. 先天奇形、染色体異常など	
消化器系の先天奇形	23
性器の先天奇形	11
循環器系の先天奇形	9
眼、耳、顔面の先天奇形	5
計	79

12. 皮膚科関連	
蜂窩織炎	38
褥瘡	13
計	111

18. 他に分類されないもの	
熱性けいれん	88
嘔吐症	22
計	189

13. 筋骨格関連	
変形性膝関節症	44
川崎病	38
変形性股関節症	36
脊柱管狭窄症	33
頸椎症性脊髄症	15
椎間板ヘルニア	14
関節リウマチ	8
計	345

19. 損傷、中毒など	
大腿骨骨折	203
頭部損傷	134
肩および上腕骨の損傷	98
下腿の損傷	91
アレルギー・アナフィラキシー	60
腹部、腰椎の損傷	55
頸部損傷	28
シャント不全	25
薬物中毒	11
計	995

14. 尿路性器系	
腎不全	175
腎盂腎炎	107
尿路結石	101
女性性器疾患(非炎症性)	95
腎炎・ネフローゼ	70
男性性器疾患	48
尿路感染症	43
前立腺肥大	25
女性性器疾患(炎症性)	6
計	802

22. 特殊コード	
COVID	123
計	123

15. 妊娠、分娩関連	
切迫早産	56
流産	32
妊娠高血圧症候群	19
前期破水	10
子宮外妊娠	9
計	469

13. 主要入院疾患名(診療科別)

(単位:人)

総合内科	
肺炎・気管支炎、誤嚥性肺炎	87
COVID	29
敗血症	26
急性腎盂腎炎	17
薬物中毒	6
計	327

腎臓内科	
慢性腎不全	214
肺炎	64
慢性腎炎・ネフローゼ症候群	64
シャント機能低下	28
計	575

消化器内科	
大腸腺腫・大腸ポリープ	267
胆石症・胆囊炎	234
総胆管結石・胆管炎	229
大腸癌	108
胃癌	80
膵癌	57
肝細胞癌	54
胆囊・総胆管癌	38
膵炎	35
胃・十二指腸潰瘍	28
消化管出血	26
肝硬変	23
腸閉塞	15
虚血性腸炎	11
肝炎	5
直腸癌	5
計	1416

血液内科	
リンパ腫	63
急性白血病	36
多発性骨髓腫	26
骨髓異形成症候群	15
計	240

循環器内科	
狭心症	364
心不全	172
閉塞性動脈硬化症	117
心房細動	84
急性心筋梗塞	71
肺炎、誤嚥性肺炎	37
房室ブロック	31
陳旧性心筋梗塞・心筋虚血	10
計	1162

外科	
直腸癌	143
大腸癌	126
胆石・総胆管結石	118
肩径ヘルニア	85
乳癌	76
虫垂炎	70
腸閉塞	66
胃癌	61
気胸	2
計	955

代謝・内分泌内科	
糖尿病	73
肺炎	29
計	186

小児外科	
肩径ヘルニア	74
虫垂炎	15
腸閉塞	4
計	194

整形外科	
大腿骨骨折	201
上腕骨、鎖骨骨折	98
橈骨、尺骨骨折	95
下腿の骨折	71
胸腰椎骨折	60
変形性膝関節症	44
変形性股関節症	36
膝の損傷	20
計	877

(単位:人)

脳神経外科	
脳梗塞(含、脳幹、小脳)	110
脳出血(含、小脳)(外傷性含む)	74
慢性硬膜下血腫(外傷性含む)	37
脳挫傷	36
くも膜下出血(外傷性含む)	34
新生生物	22
計	387

泌尿器科	
腎尿管結石	103
膀胱癌	101
腎癌、腎孟腎癌	28
前立腺癌	73
腎孟腎炎	39
前立腺肥大症	25
膀胱結石	17
計	511

小児科	
気管支炎、肺炎	445
新生児疾患	321
熱性けいれん	87
気管支喘息	66
食物アレルギー	62
内分泌疾患	60
胃腸炎	59
川崎病	38
てんかん	28
尿路感染症	20
計	1353

耳鼻咽喉科頭頸部外科	
中耳炎	44
副鼻腔炎	37
咽頭、扁桃炎	29
眩暈症、メニエル病	13
舌・喉頭癌	11
甲状腺癌	8
計	270

眼科	
白内障	259
計	273

産婦人科	
自然分娩	122
卵巣癌	106
卵巣腫瘍・卵巣嚢腫	87
子宮筋腫	79
切迫早産	55
子宮体癌・子宮頸癌	46
切迫流産	31
子宮頸部異形成	22
子宮脱	12
前期破水	9
吸引分娩	8
前置胎盤	7
人工妊娠中絶	6
計	917

脳神経内科	
脳梗塞(含、脳幹、小脳)	57
てんかん	36
パーキンソン病	13
計	128

心臓血管外科	
動脈瘤	56
静脈瘤	45
大動脈弁狭窄・閉鎖不全症	19
狭心症	7
計	165

形成外科	
外傷・熱傷	56
新生生物	39
計	150

皮膚科	
蜂窩織炎	23
皮膚癌	17
蒂状疱疹	9
計	125

**14. 主要処置、手術件数(ICD9CM分類別)**

<b>1. 神経系の手術</b>	
01-02 頭蓋骨、脳、硬膜 その他	82
03 脊髄、脊柱管構造	12
04 脳神経、末梢神経	34

<b>2. 内分泌の手術</b>	
06 甲状腺、副甲状腺	17

<b>3. 眼の手術</b>	
13 水晶体	380

<b>4. 耳の手術</b>	
19-20 中耳、内耳 その他	76

<b>5. 鼻、口、咽頭の手術</b>	
21 鼻	44
22 副鼻腔	42
26 唾液腺、唾液腺管	13
28 扁桃、アデノイド	36

<b>6. 呼吸器系の手術</b>	
30-31 喉頭	32

<b>7. 心血管系の手術</b>	
35 弁および中隔	48
36 心血管	319
37 心、心膜 その他	208
38 血管	116
39 血管 その他	349

<b>8. 血液系、リンパ系の手術</b>	
40 リンパ系	8

<b>9. 消化器系の手術</b>	
42 食道	25
43-44 胃 その他	168
45-46 腸 その他	562
47 虫垂	46
48 直腸、S状結腸、直腸周囲組織	45
49 肛門	8
50 肝	22
51 胆嚢、胆道	466
52 膵	33
53 ヘルニア	194
54 腹部 その他	67

(単位:人)

<b>11. 尿路系の手術</b>	
55 腎	20
56 尿管	64
57 膀胱	126
58 尿道	4
59 尿路系 その他	74

<b>11. 男性性器の手術</b>	
60 前立腺、精嚢	46
62 精巣の手術	17
64 陰茎の手術	2

<b>12. 女性性器の手術</b>	
65 卵巣	102
66 卵管	14
67 子宮頸	24
68 子宮 その他	153
69 子宮、支持構造部 その他	51
70 膀胱およびダグラス窓の手術	15

<b>13. 産科的処置</b>	
74 帝王切開術、胎児の摘出	159

<b>14. 筋骨格系の手術</b>	
77 その他の骨手術	28
78 顔面骨を除く骨 その他	102
79 骨折、脱臼	356
80 関節構造の切開、切除	24
81 関節構造の修復、形成	357
82 手の筋、腱、筋膜	26
83 手以外の筋、腱、筋膜、滑液包	25
84 筋骨格系 その他	28

<b>15. 外皮組織の手術</b>	
85 乳房	85
86 皮膚、皮下組織	353

<b>16. 多方面の診断的治療的処置</b>	
87-99 多方面の診断的治療的処置	541

近江八幡市立総合医療センター年報  
令和5年度（2023年度）  
令和7年3月発行

発行所 近江八幡市立総合医療センター

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町1379  
TEL (0748) 33-3151㈹  
FAX (0748) 33-4877  
<https://www.kenkou1.com/>